藤雪会 2023 年度事業報告

法人本部

法人理念　「安心を支えます」

１．2023 年度は給与を見直し、年度初めに平均 5%ベースアップしました。年度末になって、保育園に、人勧の給与見直しで、平均 6.5%を 4 月にさかのぼって支給されました。結果、2023 年度は 11.5%のアップとなりました。それに引き換え、介護と障害事業所は、年度明けの 2 月と 3 月の 2 ヶ月に、約 1.5%の処遇改善が実施されたのみで、保育事業所との差が大きく広がりました。介護と障害の 2024 年度の給与水準を保育に合わせるのは困難です。2024 年度は、介護と障害の給与対策として何らかの手を打つ必要があります。

２．BCP(事業継続計画)の策定が進んでいます。ダイレクトクラウド「法人運営資料」に介護事業所のファイルを入れました。今後事業別の書き込みで仕上がります。

３．物価高の影響で、介護事業所の食材費・食費を一部値上げしました。ご利用者・ご家族は、社会の動きなので、やむを得ず了解してくださいました。

４．介護保育の質を上げるための研修は、各事業部長から報告します。

５．ICT 化は、介護・保育・障害それぞれ記録ソフトは使いこなせるようになりました。年度末には、人事管理と勤怠管理の jinjer を導入し、管理者が準備を進めています。

６．保育園施設長連絡会と介護事業所管理者会議を毎月オンラインで開いています。事業所相互及び本部と各事業所の情報交換や連携がスムースになっています。
理事長・事業部長による全事業所の常勤職員面接も下半期で進んでいます。ハラスメントを防ぎ、風通しの良い職場環境を目指しています。

７．　2023 年度は、余剰資金を投資信託等に 4 億円投資しました。2024 年度には、1 億 7 千万円投資する予定です。年間配当金が 800 万円以上見込まれるので、前述で報告した介護と障害事業所のベースアップに利用したいと考えています。

８．土地建物の賃貸契約の都合で、市ヶ尾ポポロ事業所を 2024 年度中に閉じます。

（理事長　事業本部長　又木京子）

高齢事業部

高齢事業理念　「老いへの不安、藤雪会は安心を支えます」

1．管理者会議を定期的に開催し、運営上の工夫、営業方法、課題や解決への取り組み、アイデアなどの相談、共有を行いました。各事業所のサービス提供の向上に繋がる会議を目指し次年度以降も継続して開催していきます。

2．各事業所での活動、面会、外出などコロナ禍の制限から徐々に脱却することが出来てきました。コロナ、インフルエンザ等の感染症の報告は定期的にありますが、大きな混乱もなく対応出来ています。感染症の発生はデイサービスでは収支に大きな影響が出てしまうため、今後の対策を検討する必要があります。

3．オンライン研修の内容の見直しを行いました。年度当初は受講率が上がりましたが、徐々に下がってきています。継続して取り組むことの出来る環境づくりが必要です。

4．職員の紹介、ハローワークや広告媒体の利用、技能実習生や特定技能生などの外国籍の職員の受入れなど、各事業所の職員の充足を図りました。
訪問介護職員、送迎車の運転を出来る職員の不足が顕著でした。訪問介護は職員不足から新規利用者の受入れ依頼を断ることも増えているため、対策が必要です。
送迎車のドライバーについては高齢化が顕著で、時給をあげての募集などの対策を行いましたが、解消出来ていません。

5．事故や苦情、要望等には速やかに対策しました。管理者会議で情報を共有することで、法人内で同じことを繰り返すことがないようにリスク管理に努めました。

（高齢事業部長　畠山香織）

厚木市厚木南地域包括支援センター

理念　すべての住民の「よろず相談所」になります

１．事業概要

・厚木市地域包括支援センター運営要綱に基づき厚木市の委託を受け、指定された委託業務内容を行う。

開所時間：月曜日～土曜日（祭日含む）８：３０～１７：３０　２４時間転送電話対応

人員配置：看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員・介護支援専門員　　計６名

・ 指定介護予防支援業務

２．施設の概要

・名称：厚木市厚木南地域包括支援センター

・所在地：厚木市旭町２－３－１３

・建物床面積：約６０㎡

・事業開始日：２０１６年（平成２８年）４月１日

３．事業報告

「すべての住民のよろず相談所となります。」を施設理念に地域の中の包括支援センターを目指し安定した体制を取ることが出来ました。

（１）総合相談支援事業

・介護保険に限らず多様な相談に応じ早い対応をモットーに利用者の方の満足度を高めるよう対応しました。

① 地域におけるネットワークを構築し、ひとり暮らし・高齢者世帯への訪問は必要に応じて迅速に対応しました。

② 福祉サービス利用の相談や申請の代行を支援しました。

③ 地域包括支援センターの周知を図るため、「包括だより」４回、「リーフレット」を作り、配布しました。民生児童委員協議会に出席し、周知に努めました。

（２）権利擁護業務

① 権利擁護支援が必要な対象者に支援・日常生活自立支援事業等への支援に繋げました。

② 高齢者虐待の報告を受け、市と担当者で当該高齢者宅を訪問し状況を確認し適切な対応に努めました。

（３）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 厚木南包括エリアの介護支援専門員を対象とした会議を開催し、情報交換を行いました。

② 医療機関を含めた関係機関と連携体制を構築し地域の介護支援専門員と関係機関の間の連携を支援しました。

（４）介護予防ケアプランの作成をしました。専従の介護支援専門員を配置しました。

（５）生活支援体制整備業務

① 第２層の協議体では自治会連絡会、民生児童委員協議会、老人クラブ、事業所（介護・障がい）障がい者支援センター、シルバー人材センター、地区市民センター、市民のメンバーで厚木南

事業所風景写真

地区の社会資源・地域資源の情報を出し合い、それらの資源の活用、資源情報の見える化をすすめています。今年度はインターネット等の利用が難しい高齢者・障がい者の方への情報提供として、厚木南地区買い物支援マップを作り配布しました。

職員状況

	管理者	看護師 保健師	社会福祉士	主任介護 支援専門員	介護支援 専門員	その他	合計
常勤	1	1	1	1	1		4
非常勤					2		2
合計	1	1	1	1	2		6

一般事業・職員の活動等

事項	
人　事	採用・退職・異動　（日付、職種、人数） 採用：　　3名　　退職：　　2名
建物・ 設備	ケアセンターあさひ1階　　事務所、相談室、 市の貸与：ＰＣ　2台、プリンター1台、包括：ＰＣ5台、複合機1台、書棚、ロッカー等 専用車両（軽)、自転車3台　、電話3台

（1）相談実績

	内　　容			内　　訳			
	総合相談	その他	計	訪問	来所	電話	その他
4月	209	116	325	99	51	124	51
5月	201	139	340	84	45	138	73
6月	201	159	360	124	40	131	63
7月	220	138	358	109	44	144	56
8月	228	192	420	128	47	184	65
9月	228	170	398	96	39	192	71
10月	212	152	364	104	36	160	64
11月	222	168	390	120	37	147	86
12月	194	163	357	93	48	122	94
1月	220	173	393	100	35	154	104
2月	166	185	351	102	36	103	110
3月	217	177	394	105	30	156	103
計	2518	1932	4450	1264	488	1755	940

２）給付管理実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防	59 (4)	58 (4)	59 (4)	62 (4)	61 (3)	66 (3)	68 (3)	65 (3)	66 (3)	65 (3)	66 (4)	69 (4)	764 (42)
総合事業	39 (1)	37 (1)	37 (1)	38 (1)	39 (1)	38 (1)	40 (1)	43 (2)	40 (1)	43 (1)	41 (1)	42 (1)	477 (13)
計	98 (5)	95 (5)	96 (5)	100 (8)	100 (6)	104 (6)	108 (4)	108 (4)	106 (4)	108 (4)	107 (5)	111 (5)	1241 (60)

＊（　　）は居宅介護支援事業所に委託した数

開催講座等

1	介護家族支援事業	3回	暮らしを助ける福祉用具について
			血管年齢＆骨健康度測定
			認知症 VR 体験
2	元気いきいきネット推進事業	全12	体操・レクレーション講習
3	厚木南地域包括支援センターエリア内研修	2回	重層的支援について 厚木市高齢者福祉サービスについて
4	自立支援型地域ケア会議	3回	

外部・内部研修記録

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
5/29	自立支援型地域ケア会議実施に伴う研修	3	6/6	支援者が知っておきたい 法律知識	1
6/16	高齢者虐待防止の推進ｾﾐﾅｰ（オンライン）	1	6/28	引きこもり支援について考える	2
7/24	居住支援 貸主・不動産事業者向け研修	2	8/1	薬物相談業務研修 （オンライン）	1
8/22	地域包括支援センター職員養成研修（管理者向け）ｵﾝﾗｲﾝ	1	8/23	BCP 運用セミナー ｵﾝﾗｲﾝ	1
9/27	ケアマネジャー部会研修 適切なｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ手法　ｵﾝﾗｲﾝ	1	9/29	認知症講演会	2
10/4 10/12	地域包括支援センター職員養成研修（初任者）ｲﾝ	1	10/13	包括的支援体制の構築について	1
10/20	介護支援専門員多職種連携研修	1	12/5	多職種連携事例検討研修	1

12/13	ケアマネジャー部会	1	1/31	厚木市高齢者・障がい者虐待防止講演会	2
2/8	厚木南地区地域福祉推進委員会研修	1	2/14	認知症キャラバンメイト養成研修	1
3/19	地域包括連携会議 カスタマーハラスメントについて	1	3/18	厚木市ケアプラン点検事業ついて	4

会議等

外部会議	頻度	内部会議	頻度
厚木市地域包括支援センター会議	年 4 回	包括内　情報共有	毎月
包括エリア内事業所連絡会	年 2 回		
厚木市認知症地域推進会議	年 4 回		
2 層協議体（生活支援体制整備）	年 8 回		
厚木南地区地域福祉推進委員会会議	1 回		
厚木市住居支援協議会	3 回		
厚木市障がい者協議会	6 回		

アクシデント・苦情報告件数

項目	ヒヤリハット	軽微事故	受診事故	苦情。要望
今年度	13	0	0	1
昨年度	11	0	0	0

（管理者　沢尻美幸）

ケアセンターあさひ

理念　「ケアセンターあさひは、在宅生活を、とことん支えます」

１．事業概要

（１）デイサービス

（２）小規模多機能型居宅介護

（３）訪問介護

（４）居宅介護支援

（５）配食サービス

２．施設の概要

所在地　　厚木市旭町２丁目３－１３

敷地面積　４６０㎡

建物面積　７５０．５８㎡　　構造　　鉄筋コンクリート３階建て

事業開始日　１９９３年（平成５年）７月１日ヘルパー事業開始

施設開業　　１９９３年１２月　在宅介護支援センター、デイサービス事業開始

２０１１年４月　　３階で小規模多機能型居宅介護「ゆったり」事業開始

３．事業報告

(1) 通所介護

安定した利用実績を目指して、各事業所に新規利用者の獲得の為の働きかけ継続して行いました。

ご利用者の状態に合わせた適切な利用回数の提案やキャンセル待ち、利用日の振替の調整により稼働率の向上に努めました。

コロナ禍の影響により外出等の活動は自粛している為、フロアで楽しみを感じながら、利用を継続していただけるように努めました。

感染症対策は基本的な予防対策を実施し感染リスクを下げるよう努めました。

年間実績（年度末登録者数:通所介護　51 人、介護予防　16 人）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	平均	昨年度
登録者数	70	70	68	72	71	73	70	65	69	68	69	69	70	70
利用者数/日	20.1	22.0	22.1	23.0	22.0	23.0	23.0	22	22	20.2	22	22.1	22	21
新規	4	3	1	3	1	1	2	1	3	1	3	1	24	24
取消	0	2	0	0	2	3	1	1	1	1	3	3	17	13
利用の見学	0	1	0	1	0	0	0	0	2	1	0	1	6	8

書式付きの表

介護度別年間延べ利用者数（介護予防・日常生活総合支援事業含む）

事業対象	要支援１	要支援２	小計	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	小計
107	351	617	1075	1181	1775	1735	786	211	5688

加算等の状況

入浴加算（Ⅰ）	中重度ケア体制加算	認知症加算
サービス提供体制加算（Ⅰ）	介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）
ベースアップ等支援加算		

アクシデント・苦情報告件数

項　　目	ヒヤリハット	軽微事故	受診事故	苦情・要望
今年度	62	0	0	0
昨年度	55	0	0	1

主な定期的ボランティアの状況

内　　容	頻度	人数	内　　容	頻度	人数
歌とピアノ	月１	2	カラオケ	月１	1
ギター演奏	月１	1	尺八演奏	月１	1
フラダンス	３ ヵ月に１回	6	チェアヨガ	３ ヵ月に１回	1

紹介事業所別実利用者数（年度末）

事業所名	人数	事業所名	人数
ケアセンターあさひ在宅支援	29	ケアプランきみどり	6
なごみ訪問看護リハビリステーション	2	風の丘	1
東名厚木病院居宅介護支援センター	1	厚木地域包括支援センター	1
ワーカーズコレクティブさち	2	厚木南包括支援センター	14
えまーぶる	7	南毛利地域包括支援センター	1
てだすけ	2		
ケアプランすぽると厚木	1		

行事記録（研修受け入れ含む）

月　日	内　　容
毎月	誕生会・体重測定
6/19～10/11	神奈川工科大学老年看護学実習 12 名
9/7	荻野中学校　職場体験学習　2 名

外部･内部研修

月日	外部研修（オンライン含む）	参 加者数	月日	内部研修	参 加者数

7/27	感染症について		5/20	スタッフとしての倫理規定	10
			6/17	身体拘束排除の為の取り組み	12
			9/1	事故発生または再発防止	13
			3/20	認知症研修	7
			3/20	接遇について	7

職員配置状況

	管理者	生活相談員	看 護 師	介護職員 (うち介護福祉士)	機能訓練指導員	事務員	調理員
常　勤	1			2			
短期常勤		1		1			
非常勤			4	5			
合計	1	1	4	9			

（管理者　　山崎恵美）

（2）小規模多機能型居宅介護「ゆったり」

理念　「ゆったりは、安心して過ごせる居場所」作りをめざします

・短期利用居宅介護は、2名の利用がありました。

・コロナに対して感染対策をしていたにも関わらず､利用者11名､職員5名が感染してしまいました。感染したご利用者様には自宅で療養していただき、この時点で感染されなかったご利用者様と、ご家族に状況を説明し、自宅待機をお願いしました。各ご利用者様やご家族様の要望をお聞きし、対応に努めました。

また､コロナ感染されたご利用者様3名様は独居の為､急な体調の変化にもすぐに対応できるように、施設に泊まっていただき、体調の確認をしました。数日入院された方もいましたが、ご利用者、職員共に重症化はしませんでした。

・ご家族が遠距離在住の方が多く、独居のご利用者の様子をなかなか見に来られないため、家事や服薬、または通院等のご要望にも柔軟に対応し、ご利用者とご家族が安心できるよう支援しました。

・スタッフ間で、利用者のケアを細かく共有し、臨機応変に誰もがすぐに対応できるよう、スタッフ間のコミュニケーションを大切にしました。

・オンラインや内部研修に参加し、スタッフの知識や意識の向上に努めました。

・運営会議は、5回開催を予定していましたが、コロナ感染の影響で、3回のみの開催となりました。

年間実績　　（　　）内は、短期居宅介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録人数	20	22	21	21	22 (1)	23	21 (1)	21	20	20	21 (1)	21	21.2

	男	4	6	5	5	5	6	6	5	5	5	5	5	5.1
	女	14	15	14	14	15	15	13	14	14	13	14	14	14
通い	実利用	18	21	19	19	20	21	19	19	19	18	19	19	19.2
	延べ	251	297	303	302	326	255	288	289	309	316	295	308	295
	日平均	8.2	9.5	10.1	9.7	10.5	8.5	9.2	9.6	9.9	10.1	10.1	9.9	9.6
泊り	実利用	6	6	8	10	10	11	10	9	12	12	9	8	9
	延べ	75	81	82	114	126	102	104	104	114	120	93	108	111
	日平均	2.5	2.6	2.7	3.6	4.0	3.4	3.4	3.4	3.6	4	3.2	3.4	3.3
訪問	実利用	14	16	15	15	17	15	18	15	15	17	17	18	16
	延べ	311	380	331	339	443	548	518	482	495	447	468	523	440
	日平均	10.3	12.2	11	10.9	14.2	18.2	16.7	16	15.9	14.9	16.1	16.8	14.4
新規		1	2	1	0	2(1)	2	1	0	1	0	1	0	1
取消		0	1	0	0	2	2	3	0	0	0	0	1	0.8
見学		2	2	0	0	1	0	1	0	2	1	0	0	0.8

介護度別年間延べ利用者数

	延べ利用者数（年間）			月別
	宿　泊	通　い	訪問（回数）	登録者数
要支援１				
要支援２	0	99	114	12
要介護１	213	597	738	50
要介護２	717	1169	1208	73
要介護３	230	1138	2216	74
要介護４	29	220	594	18
要介護５	31	279	358	16
合　　計	1221	3502	5228	243

加算等の状況

初期加算	認知症加算（Ⅰ）	認知症加算（Ⅱ）
看護職員配置加算（Ⅱ）	訪問体制強化加算	総合マネジメント体制強化加算
サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）
ベースアップ等支援加算		

アクシデント・苦情報告件数

項　　目	ヒヤリハット	軽微事故	受診事故	苦情・要望
今年度	158	7	0	2
昨年度	102	6	1	1

運営推進会議

月日	出席者数
6/12	6名
8/21	中止
10/16	中止
12/18	8名
3/18	8名

行事記録

月日	内容	月日	内容
4月	外食	随時	誕生日
5月	外食	随時	散歩
6月	町内こども神輿		
7月	七夕ゼリー作り		
8月	夏祭り		
10月	避難訓練		
3月	避難訓練		

紹介事業所別実利用者数（年度末）

事業所名	人数	事業所名	人数
ケアセンターあさひ在宅支援	7	なごみ訪問介護事業所	1
厚木市立病院	1	居宅介護支援事業所えまーぶる	1
厚木南包括支援センター	3	老健ぬるみず	1
依知包括支援センター	6	厚木包括	1
神奈川リハビリテーション病院	1	ニチイケアセンター居宅事業所	2

外部・内部研修

月日	外部研修（オンライン含む）	参加者数	月日	内部研修	参加者数
7/27	感染症について	12	5/27	クレームの聴き方	12
随時	ジョブアカデミー		10/1	事故発生防止	12
10/28	腰痛予防に関する研修	1	3/28	身体拘束と虐待防止の取組み	12
11/13	認知症の話とコミュニケーションスキル	1			

職員配置状況

	管理者	介護支援専門員	看護師	介護職員（うち介護福祉士）	機能訓練指導員	事務員	社会福祉士
常　勤	1	1	1	6			1
短期常勤							
非常勤			1	3(1)			
合計	1	1	2	10			1

（管理者　　滝澤　海美）

（３）訪問介護

・サービス担当者会議に出席し、ケアマネジャー、その他のサービス提供事業所と連携し適切なサービスを提供しました。

・サービス計画に沿ったケアを提供しました。

・緊急や臨時訪問などの希望にも臨機応変に対応し、利用者に寄り添うケアを行いました。

・内部研修・オンラインなども利用した研修に参加し、ヘルパーの資質向上に努めました。

・感染対策に努めました。

年間利用者数

開所日数： 310 日　　（年度末の登録者（実数）： 40 名、実利用者数: 481 名）

	利用者数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護２	要介護３	要介護４	要介護5	新規	取消
４月	38	4	7	6	13	4	0	4	1	2
５月	39	3	8	7	13	4	0	4	1	1
６月	40	5	9	6	11	5	0	4	3	1
７月	40	7	8	5	11	5	0	4	1	0
８月	41	7	8	6	11	5	0	4	1	1
９月	41	7	8	5	11	5	0	4	0	0
10 月	41	7	8	5	10	6	0	4	2	2
11 月	40	8	8	4	10	6	0	4	0	1
12 月	41	7	8	4	11	6	1	4	2	0
１月	40	7	8	4	10	6	1	4	0	0
２月	40	7	8	4	9	8	1	3	1	3
３月	40	7	8	4	9	7	1	4	0	1
合計	481	76	96	60	129	67	4	47	12	12

月別内訳

	介　護　保　険								総合事業	
	計		身体介護		生活援助		身体生活			
	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間	回数	時間
４月	190	172：15	65	47：50	109	104：15	16	20：10	51	46：05
５月	209	190：20	63	47：20	127	119：30	19	23：30	55	50：45
６月	185	168：40	58	43：45	111	102：25	16	22：30	57	56：05
７月	162	151：05	43	30：50	107	103：45	11	16：30	69	59：25
８月	188	169：16	60	41：00	114	109：46	13	18：30	69	63：00
９月	178	160：26	61	42：05	105	99：21	12	19：00	67	59：30
10 月	167	152：30	53	34：00	100	99：40	14	18：50	74	69：50
11 月	159	143：55	62	39：00	85	81：15	17	23：40	75	66：00

12 月	176	166：05	59	38：00	86	83：05	30	45：00	68	63：50
1 月	165	157：26	45	30：51	88	84：15	32	42：20	61	55：10
2 月	162	155：40	46	29：30	77	75：40	39	50：30	67	60：25
3 月	165	160：20	50	33：05	75	72：45	40	54：30	66	60：30
計	2,106	1947:58	665	457：16	1,184	1135:42	259	355：00	779	710：35
平均	176.5	162：19	65.0	47：50	98.7	94：38	21.6	29：35	64.9	59：12
前年度	199.9	186：32	72.1	60：58	114.3	109：09	13.4	16：24	66.8	59：58
対前年比	88%	87%	90%	78%	86%	87%	161%	180%	97%	99%

年間サービス提供回数内訳

身　体　介　護				生 活 援 助		通院等乗降介助
20 分以内	20-30 分	30-60 分	60 分以上	20-45 分	45 分以上	
0　回	559 回	363　回	2 回	790　回	653　回	

加算等の状況

初回加算	介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	介護職員等特定処遇改善加算（Ⅱ）
		介護職員等ベースアップ支援加算

アクシデント・苦情報告件数

項目	ヒヤリハット	軽微事故	受診事故	苦情。要望
今年度	38	4	0	4
昨年度	26	0	0	2

紹介居宅介護支援事業所別実利用者数（年度末）

事業所名	人数	事業所名	人数
あさひ	17	厚木南包括支援センター	9
ケアプラン船子	1	てだすけ(予防)	1
えまーぶる	6	厚木地域包括支援センター	5
てだすけ	1		

外部・内部研修記録

月日	外部研修（オンライン含む）	参加者数	月日	内部研修	参加者数
7/27	感染症予防	5	4/24	接遇	7
8/28	事故発生又は再発防止に関する研修	7	6/26	事故の発生等緊急時の対応	7
11/28	腰痛予防に関する研修	1	8/28	虐待、認知症	7
年間	ジョブアカデミー	1	12/18	感染症・食中毒の予防蔓延防止	6

			2/26	個人情報・法令遵守・緊急時の対応、記録の書き方	7

職員配置状況

	管理者	介護職員	事務員
常勤	1	1	0
短期常勤		1	0
非常勤		4	0
合計	1	6	0

（管理者　　山咲　良子）

(5)居宅介護支援(ケアマネージャー)

今年度はコロナも５類となり、各地域包括支援センターや事業所と連携を取り担当者会議も前年度より多く開催し、さらに利用者の方にとって適切なプランを作成するよう心掛けました。新人ケアマネがR5.10月(常勤換算0.2)、R6.2月（常勤）が入り対応が出来る様細かな研修を行いました。

介護支援専門員の実務者研修受け入れが出来る様今年度は手続き行い、３月に申し込みあり来年度４月５月に研修を行う予定です。

今年度もオンライン研修に積極的に参加し、感染症、認知症、心不全末期・癌末期などについて研修しまた。また、厚木南包括・厚木包括エリア連絡会・ケアマネージャー部会の研修にも参加しスキルアップを図りました。事業内でも事例検討会を行い困難事例の方について共有しました。

１月～3月に亡くなる方が多く利用者人数が減少してしまいました。

年間実績　　（開所日数：310日）（訪問調査件数:0件）

	ケアプラン作成件数　予防:15件/介護:180件												
	新　規		要支援1	支援2	総合	予防計	要　介　護					要介護計	合計
	予防	介護					1	2	3	4	5		
4月	0	2	1	0	1	2	41	55	39	16	10	161	163
5月	0	6	0	0	1	1	46	52	39	17	10	164	165
6月	1	3	0	1	1	2	47	57	38	16	10	168	170
7月	0	5	0	1	1	2	45	58	39	18	10	170	172
8月	0	3	0	0	1	1	41	55	37	17	12	162	163
9月	0	2	0	0	1	1	39	60	34	18	10	161	162
10月	0	1	0	0	1	1	38	58	38	18	11	163	164
11月	0	6	0	0	1	1	37	58	39	19	10	163	164
12月	0	6	0	0	1	1	39	58	40	20	10	167	168
1月	0	3	0	0	1	1	35	59	38	22	10	164	165
2月	0	7	0	0	1	1	35	61	35	21	10	162	163

3月	0	4	0	0	0	0	34	61	33	22	9	159	159
計	1	48	1	2	11	14	477	692	449	224	122	1964	1978
平均	0.1	4.0	0.1	0.2	0.9	1.2	39.7	57.7	37.4	18.7	10.2	163.7	164.8

加算等の状況

初回加算　　48件	特定事業所加算（Ⅱ）	入院時情報連携加算（Ⅰ）
入院時情報連携加算（Ⅱ）	退院・退所加算（Ⅰ）イ	通院時情報連携加算

アクシデント・苦情報告件数

項　　目	ヒヤリハット	軽微事故	受診事故	苦情・要望
今年度	３１	1		2
昨年度	２１	2		7

外部・内部研修

月日	外部研修（オンライン研修含む）	参加者数	月日	内部研修	参加者数
4/18	現場で役に立つ　在宅感染予防策	5人	5/25	事例検討会	５人
4/25	横須賀市の終活支援2つの事業	3人	6/28	事例検討会	5人
6/9	在宅での看取り～終末期・心不全末期について	4人	7/27	職員研修「感染所について」	5人
9/14	南包括「重層的支援について」	5人	11/16	事業所加算研修会「ワクチン接種について	９人
9/15	厚木包括　事例検討会	4人	12/15	事故発生防止動画研修	6人
9/27	ケアマネ部会「インテーク・アセスメント・適切なケアマネジメント手法について」	3人	3/15	事例検討会	
11/15	ケアマネ部会「厚木障害福祉制度とサービスについて」	1人			
11/17	厚木包括「医療連携」	６人			
12/13	ケアマネ部会「あるある事例から学ぶ高齢者トラブルの対応・予防のポイント	6人			
1/19	南毛利包括「医療・介護多職種連携」	2人			
1/30	Medical B.I.Gnet 操作体験会	2人			
2/16	厚木包括「災害時の高齢者避難	5人			

書式を変更: フォント：(英) ＭＳ 明朝, (日) ＭＳ 明朝, 10 pt

書式を変更: フォント：(英) ＭＳ 明朝, (日) ＭＳ 明朝, 10 pt

	について」				
2/27	南包括「認知症 VR 体験」	6 人			
3/18	厚木市ケアプラン点検報告会	7 人			

書式を変更: フォント：(英) ＭＳ 明朝, (日) ＭＳ 明朝, 10 pt

職員配置状況

	管理者 (うち主任ケアマネ)	介護支援専門員	事務員
常　勤	1	3	
短期常勤		2	
非常勤		1	
合計			

（管理者　　大江洋子）

（6）　配食サービス

独自での配食サービスをつづけました。

入院、入所などで終了となる方もいましたが、包括からの依頼やデイサービスからの持ち帰りが増えました。

配達においては、安否確認、地域包括、ケアマネと連携を取りながら細かい対応が出来ました。

独自弁当実績

該当月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
登録者数	30	27	29	30	31	32	32	31	30	29	27	28
配食数	453	519	551	567	530	533	560	544	554	469	496	522
日平均	18	19	21	22	20	21	22	21	21	20	20	20
新規	1	3	2	1	1	1	0	1				1
取消	1	3						1	1	1	2	

介護度別利用者

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	独自
2	2	5	5	9			

アクシデント・苦情報告

項目	ヒヤリハット	軽微事故	受診事故	苦情・要望
今年度	12			
昨年度	26			

紹介事業所

厚木南包括	2
あさひ通所介護	2
あさひ在宅支援	2
家族・本人	3

職員配置状況

	調理	運転	栄養士
常勤	2	2	0
非常勤	3	0	1
合計	5	2	

（厨房責任者　神成めぐみ）

あつぎポポロ

理念「あつぎポポロは自分と家族が利用したい施設をつくります」

１．事業概要

（１）地域密着型特別養護老人ホーム　定員 29 人

（２）グループホーム　定員 18 人（2 ユニット）

（３）デイサービス　定員 30 人

２．施設の概要

所在地　厚木市東町 7-2-2

敷地面積　853.07 ㎡

建物面積　2736.31 ㎡　構造　鉄筋コンクリート 6 階建て

事業開始日：2020 年（令和 2 年）4 月 1 日

３．施設報告・職員状況

・感染症対策を行いながら、居室での面会制限や外出制限の撤廃、施設内での行事の開催等を進め、利用者と家族、友人との交流の機会を増やすことが出来ました。保育園や地域との交流までには発展させることが出来ていないことが次年度への課題です。

・介護記録や見守りシステムなどの ICT を活用した支援に継続的に取り組みました。活用しきれていない機能も多く、職員の理解度を深める取り組みを継続的に行っていきます。

・主治医、ご家族と協力し、特養とグループホームで 8 名の利用者の看取りを行いました。

・毎年デイサービスで受け入れをしていた神奈川工科大学の看護学科の実習を特養でも受け入れました。

・働きやすい職場環境づくりを目指し、シフトの見直し、福祉機器等の導入を行いました。

職員状況（全体）（3 月 31 日現在）

	施設長 管理者	看護師 保健師	ケア マネ	社会福 祉士	介護福 祉士	ヘルパー 初任者	無資格 介護者	栄養士	調理員	事務	運転 手	その 他	合計
常勤	3	2	2		15	4	10		2	1			39
短常勤					4	1	1						6
非常勤		4			4	5	5		6	1	3	5	33
合計	3	6	2		23	10	16		8	2	3	5	78

一般事業・職員の活動等

事　項	
人　事	採用　4 月　介護職（常勤）　1 名、　調理員（非常勤）　2 名 5 月　調理員（非常勤　1 名 6 月　介護職（技能実習生）　1 名

	12 月　介護職（特定技能）2 名　／　介護職（技能実習生）2 名 3 月　運転手（非常勤）　2 名　／　介護補助（非常勤）　1 名 退職（日付、職種、人数） 6 月　介護職（常勤）　1 名 8 月　介護職（常勤）　1 名 9 月　介護職（常勤）　1 名　／　介護職（短時間）　1 名 12 月　介護職（非常勤）　1 名 3 月　調理員（非常勤）　1 名　／　運転手（非常勤）　1 名
建物・設備	特定建築物定期調査、建築設備定期検査、ポンプ点検、ガス給湯器保守点検、消防設備点検、設備巡回点検、電気点検、自動ドア点検、昇降機点検受水槽清掃、空調機フィルター清掃、床・ガラス清掃
地域関連	運営推進会議
見学・来所	随時
体験学習	
実習生指導	神奈川工科大学看護学科老年看護学実習（デイサービス、特養） リタリコワークス海老名（就労移行支援事業所）

4．事業報告

（1）地域密着型特別養護老人ホーム

・生活リハビリやレクリエーションの提供など、利用者の「出来る力」を引き出す支援に努めました。職員、利用者状況により取り組みの濃淡が出てしまうこと、また、職員によって目的意識の理解度に差異があることが課題です。

・整理、整頓、清潔を心掛け安全で過ごしやすい環境の維持を目指しました。業務効率が優先され、リスク管理が出来ていなかった箇所の見直しを行いました。

・入退所に伴う空所削減に努めましたが、最大で 2 カ月の空床期間が生じるなど、対策が必要です。

年間実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
定員	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348
入居者数	28	29	29	29	29	29	27	29	28	27	29	28	341
新規	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	5
退去	1	1	0	0	0	0	2	0	1	1	0	1	7
利用の見学													

介護度別年間延べ利用者数

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
0	1	6	16	12	0	35

加算等の状況

看護体制加算（Ⅰ）イ	夜勤職員配置加算（Ⅱ）イ	初期加算
認知症専門ケア加算（Ⅰ）	排せつ支援加算（Ⅰ）	自立支援促進加算
科学的介護推進体制加算（Ⅱ）		
サービス提供体制強化加算（Ⅲ）	介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	介護職員等特定処遇改善加算（Ⅱ）

アクシデント・苦情報告件数

項　　目	ヒヤリハット	軽微事故	受診事故	苦情・要望
今年度	350	27	11	18
昨年度	257	56	3	1

運営推進会議

月日	出席者数
4/18	10名
6/20	9名
8/8	9名
12/12	6名
2/20	6名

行事記録

月日	内容	月日	内容
5月	入所者健康診断	8月	鮎祭り花火大会鑑賞会
5月	菖蒲湯	8月	おやつ作り
6月	おやつ作り	9月	敬老の日　園芸
6月	風船バレー大会	9月	敬老の日ケーキバイキング
7月	七夕飾り作り	10月	運動会
7月	オカリナ演奏	12月	クリスマスケーキバイキング
7月	子供神輿交流	2月	節分

外部・内部研修

月日	外部研修（オンライン含む）	参加者数	月日	外部研修（オンライン含む）	参加者数
4月	精神的ケア	16名	10月	認知症ケアの応用	6名
4月	接遇	9名	10月	高齢者施設における看取りの現状	1名
4月	間接業務	3名	11月	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止	4名
5月	倫理及び法令順守	8名	12月	服薬介助	5名
6月	ターミナルケア	8名	12月	プライバシーの保護の取り組み	8名
6月	認知症及び認知症ケア	8名	12月	認知症とコミュニケーションスキル	16名
7月	医療	7名	12月	食事の不良姿勢に有効なシーティング	1名
7月	事故発生又は再発防止	7名	1月	褥瘡対策	7名
8月	非常災害時の対応	12名	2月	高齢者虐待・身体拘束排除	5名

9月	緊急時対応	7名	2月	食機能をダメにする、引出すアプローチ	1名
10月	高齢者虐待・身体拘束排除	5名	2月	ボディメカニクス講座	5名
			3月	介護予防及び要介護度進行予防	6名

（施設長　畠山香織）

（2）グループホーム

ケアの統一を目標に、方針の「寄り添い、利用者の自主性を大切に尊厳を守り受け入れる」を毎月のアンケート用紙に記載して、職員全員が振り返りを行うことで、業務の振り返りや目標を認識することができました。今年度は運営推進会議も予定通り開催でき、徐々に地域との繋がりを広げつつあります。

年間実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
定員	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
入居者数	17	17	18	18	18	18	17	17	18	17	18	18	18
新規	1	1						1	1		1		5
退去	1						1	1		1			4
利用の見学	1		2		1		1		1	1	2		9

介護度別年間延べ利用者数

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	計
2	3	9	3	1		18

加算等の状況

見取り介護加算（前4～30以下）	見取り介護加算（前２又は３日）	見取り介護加算（死亡日）
初期加算	医療連携体制加算（Ⅰ）	科学的介護推進体制加算
介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	介護職員等特定処遇改善加算（Ⅱ）	

アクシデント・苦情報告件数

項　　目	ヒヤリハット	軽微事故	受診事故	苦情・要望
今年度	174	28	4	1
昨年度	370	13	2	0

運営推進会議

月日	出席者数
4/18	9名

行事記録

月日	内容	月日	内容
4/2	花見	10/13	風船バレー

6/20	9名
8/8	9名
12/12	6名
2/20	6名

5/5	菖蒲湯	11/12	運動会
6/27	梅ジュース作り	12/24	クリスマス会
7/1	オカリナ演奏	12/	餅つき
8/5	花火大会	1/2	福笑い、書初め
8/20	夏祭り	2/3	節分（豆まき）
9/17	敬老の日（園芸）	3/25	お菓子作り

紹介事業所別実利用者数（年度末）

事業所名	人数	事業所名	人数
ゆったり	1	仁厚会訪問看護ステーション	1
ケアセンターあさひ	1	デイサービスあおぞら	
相模ゴム	1	ケアプラン船子	1

外部・内部研修

月日	外部研修（オンライン含む）	参加者数	月日	外部研修	参加者数
8/7 、 8/8 8/17、8/18 8/18、9/20	認知症介護実践者研修	1	10/11, 12 10/19, 20 11/28	認知症介護実践者研修	1
9/27	国際福祉機器展示会	1	11/7 11/10, 1315, 16 12/21	認知症リーダー実践者研修	1
9/28	総務・人事・経理week	1	12/8	リスクマネジメントの夜間対応について	1
11/13	認知症の話しとコミュニケーションスキル	2	3/14	活動と意欲を引き出すコミュニケーション術、東京ビックサイト展示会	4

（管理者　成田　美奈子）

（3）デイサービスあおぞら

7月～9月はコロナウイルス感染拡大により利用者減。コロナの影響で新規問い合わせも少なく、契約が延期になる影響も出ていました。10月ごろから徐々に利用者が回復、スポット利用の提案、定期的な休みがある利用者のいる曜日は定員より+1、2名多く登録者を取れるよう調整、新規の受け入れ増加があり稼働率90%前後で維持出来ました。

年間実績等（年度末登録者数:通所介護　75 人、介護予防　10 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	昨年度
登録者数	87	90	91	89	91	83	81	82	83	82	83	35	85
利用者数/日	26.9	26.2	27.7	24.1	26	21.2	25.6	27.7	27.9	26.7	27.4	27.4	24.5
新規	3	5	4	0	2	1	1	4	4	1	3	3	4
取消	2	3	1	1	10	3	3	2	1	3	2	2	2
利用の見学	4	6	1	1	0	1	2	2	1	1	1	3	4

介護度別年間延べ利用者数（介護予防・日常生活総合支援事業含む）

事業対象	要支援1	要支援2	小計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計
59	18	713	790	2,126	3,107	1,232	341	362	7,168

加算等の状況

入浴介助加算（Ⅰ）	個別機能訓練加算（Ⅰ）ロ	個別機能訓練加算（Ⅱ）
科学的介護推進体制加算	サービス提供体制強化加算（Ⅱ）	介護職員処遇改善加算（Ⅰ）
介護職員等特定処遇改善加算（Ⅱ）	ベースアップ加算	

アクシデント・苦情報告件数

項　　目	ヒヤリハット	軽微事故	受診事故	苦情・要望
今年度	320	27	1	23
昨年度	256	22	3	12

主な定期的ボランティアの状況

内　　容	頻度	人数	内　　容	頻度	人数
歌のボランティア	1/月	1	ギター演奏	1/月	1
オカリナ	1/月	3～4			

紹介事業所別実利用者数（年度末）

事業所名	人数	事業所名	人数
睦合南包括支援センター	1	ほほえみケアネット	2
あさひ	3	てだすけ	1
さち	5	厚木地域包括支援センター	1
きみどり	7	さくらなみき	2
ニチイ厚木北	1	さつき町地域包括支援センター	1
厚木南地域包括支援センター	2	なごみ訪問看護	1
ひかりデイサービス	1	さつきの里あつぎ	1
手と手ケアマネ事務所	2	介護相談ひらつか	1

行事記録（研修受け入れ含む）

月　日	内　　容
4/14.25.5/23	移動スーパー
6/19-22、6/26-29	神奈川工科大学　看護学生実習受け入れ
偶数月	お楽しみ入浴
4 月-7 月.11 月-3 月/1 回	アコーディオン演奏
4/19.9/12	大正琴
5/25.3/7	ハーモニカ演奏
6/19.28	おひさまっこ保育園交流
6/7	椅子ヨガ
7/20-25	羊羹作り
8/8-12	夏祭り、盆踊りﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ
9/23	演劇ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ
9/18	敬老のお祝い
5/23.7/1.9/30.12/25.3/19	オカリナ演奏
10/16-19	運動会
11/1-9	ざる菊おでかけ
12/6	ごぼう先生ｵﾝﾗｲﾝﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ
12/19	茶臼山動物園ｵﾝﾗｲﾝﾂｱｰ
11/21-24	たこ焼き作り
12/20-25	クリスマス会
12/22	ｳｸﾚﾚ演奏
1/5.6	甘酒作り
1/15.16	厚木神社へ初詣
1 月-3 月	ｽﾏｲﾙｴｲｼﾞﾝｸﾞｹｱのｵﾝﾗｲﾝ体操
毎月	歌のﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ

外部・内部研修

月日	外部研修（オンライン含む）	参　加 者数	月日	内部研修	参　加 者数
5/19.26	ｼﾅﾌﾟｿﾛｼﾞｰﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ研修	2	4/21	AED 研修	3
5/23.8/24.9/14.1/13 11/152/20.3/13	ｼﾅﾌﾟｿﾛｼﾞｰｽｷﾙｱｯﾌﾟ研修/	2			
6/26	高次機能障害の方への地域支援	1			
10/11	在宅療養を支援するﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	3			
11/6.11/8	機能訓練の利用者のモチベーションを上げるノウハウ	3			

11/13	認知症の話とｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽｷﾙ	8			
11/28	(労基)腰痛予防	1			
11/8-	認知症介護リーダー研修	1			
12/6.12/7	感染予防リーダー育成研修	2			
2/15	ﾌﾚｲﾙ予防のためのｵｰﾗﾙﾌﾚｲﾙ対策	2			

職員配置状況

	管理者	生活相談員	看 護 師	介護職員 (うち介護福祉士)	機能訓練指導員	事務員	調理員
常　勤	1	2	1	1	2		
短期常勤				2(1)			
非常勤			3	3(2)			
合計	1	2	4	5	2		

(管理者　　阿部優樹)

市が尾ポポロ

理念　「私たちは利用者に寄り添った、安心できる『家』をつくります」

1．事業概要

（1）グループホーム　　定員 9 人

（2）デイサービス　　定員 3 人

2．施設の概要

所在地　　神奈川県横浜市荏田西 3-1-19

定員　　認知症共同生活介護　9 名　認知症対応型通所介護 3 名

事業開始日　2013 年（平成 25 年）6 月 1 日（NPO 法人開始日 2005 年(平成 17 年)3 月）

3．施設報告・職員状況

	管理者	介護支援専門員	介護福祉士	初任者	無資格	調理員	合計
常勤	1		2	2			4
短常勤			3	1			4
非常勤		1		2		2	5
合計	1	1	5	5		2	

一般事業・職員の活動等

事　項	
人　事	採用・退職・異動　（日付、職種、人数） 3/11　介護職常勤　　1 名、11/1　介護職非常勤　　1 名 12/1　介護職非常勤　　1 名 退職 4/31　介護補助非常勤　1 名、7/31　介護職員短常勤　1 名 9/16　介護職員短常勤　1 名
建物・設備	南トイレ　手洗い水栓交換,着脱室　手洗い水栓交換 エレベーターロープ交換
地域関連	地域の畑作業に参加
見学・来所	月に 1 名から 2 名ほど、入居・通所の見学あり
研修受入れ	

4．事業報告

（1）グループホーム

1 年を通してご入居者様の入れ替わりが無く、安定しています。上半期 1 回下半期 1 回救急搬送にて救急対応することがありました。参加できていなかった地域の畑も再開しています。伸びに伸びた雑草をご入居者様と地域の方とで草むしりを行いました。藤雪会の横浜の施設間で虐待防止委員会・感染

症委員会を立ち上げ 2 カ月ごとに施設間研修を実施しています。職員の入れ替わりもあり、フレッシュな職場環境となりました。2 年後にはご入居者様の半数が 100 歳になられます。皆様が最後まで安心して過ごして頂けるように日々の積み重ねを大切にしています。

（2）デイサービス

ご利用者様の増減は無く、横ばいの状態で推移しています。登録されている方全員がお泊りデイの利用もあり週末のご予約は半年先まで埋まっている状態です。空いている日などご案内して分散してご利用をお願いしています。お泊りデイの需要は高くなっています。

デイサービス中、事故などに事故にあわれる方も無く、安全にサービスの提供ができています。

新規利用者様獲得の為、施設見学や料金説明など丁寧対応していきます。

年間実績

①グループホーム年間実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
定員	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
入居者数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用の見学	2	3	1	1	2	3	1	2	2	3	1	1	22

介護度別年間延べ利用者数

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	計
31	1064	881	579	730		3285

加算等の状況

看取り介護加算（前 31～45 以下）	看取り介護加算（前 4～30 以下）	看取り介護加算（前 2 又は 3 日）
看取り介護加算（死亡日）	初期加算	医療連携体制加算（Ⅰ）
退院時相談援助加算	サービス提供体制加算（Ⅲ）	介護職員処遇改善加算（Ⅰ）
介護職員等特定処遇改善加算（Ⅱ）		

アクシデント・苦情報告件数

項　　目	ヒヤリハット	軽微事故	受診事故	苦情・要望
今年度	193	0	0	2
昨年度	175	0	1	0

運営推進会議

月日	出席者数
5/9	5 名
7/27	4 名
9/27	5 名
11/27	5 名

行事記録

月日	内容	月日	内容
5/5	端午の節句（しょうぶ湯）	11/10	お楽しみ会
6/6	お散歩強化週間	12/24	ミニクリスマス会
7/7	七夕	1/1-2	お正月メニュー
8/8	スイカ割	2/4	節分
10/21	地域の畑（大根）	3/29	お花見

紹介事業所別実利用者数（年度末）

事業所名	人数	事業所名	人数
ふれあい都筑	1	ささゆりケアプラン	1
葛が谷地域ケアプラザ	1	ケアセンターあおば	1
家族自ら問い合わせ	10		

外部・内部研修

月日	外部研修（オンライン含む）	参加者数	月日	内部研修	参加者数
2/17	認知症の人を支える医療とケア～専門職に求められる態度	1名	4/27	感染症の予防	7名
3/25	令和6年度介護報酬改定説明会～GH運営の今後について	1名	5/30	接遇	6名
			6/30	利用者の人権擁護・虐待防止	7名
			8/30	ヒヤリハット研修	7名
			12/26	感染予防	8名
			2/28	身体拘束等の適正化	7名

②通所介護（デイサービス）

年間実績等（年度末登録者数:通所介護　3人、介護予防0人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	昨年度
登録者数	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4
利用者数/日	1.1	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0	1.2	1.2	1.2	1.1	1.3	1.2	2.4
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
取消	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
利用の見学	1	1	2	1	0	2	1	0	1	3	1	0	5

介護度別年間延べ利用者数（介護予防・日常生活総合支援事業含む）

	要支援1	要支援2	小計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計
						156	218	50	424

加算等の状況

若年性認知症受入加算	介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	介護職員等特定処遇改善加算（Ⅱ）
認知症通所介護ベースアップ等支援加算		

（管理者　本田陽一）

緑事業所「ガーデンハウスもも」

理念「ガーデンハウスもも　は、利用者本位に徹し、柔軟なサービスを提供します」

１．事業概要

小規模多機能型居宅介護　　定員 29 人

２．施設の概要

所在地　　横浜市緑区中山 2-6-1

定員　　29 名（通い 18 人、宿泊日/5 人、訪問対応）

事業開始日　　2013 年（平成 25 年）6 月 1 日（NPO 法人開始日　平成 24 年 4 月 1 日）

３．施設報告・職員状況

	管理者	介護支援専門員	介護福祉士	初任者	無資格	調理員	看護師	合計
常勤	1		2	1				4
短常勤		1		1	1			3
非常勤			4	6			3	13
合計	1	1	6	8	1		3	20

一般事業・職員の活動等

事　項	
人　事	採用・退職・異動　（日付、職種、人数） 採用　2023.6.1　非常勤介護職員　1 名、　2023.7.1　非常勤介護職員　1 名 2024.3.1. 非常勤介護職員　1 名 退職　2023.7.15　介護職員　1 名、　2023.9.30　正看護師　1 名 2023.10.31　常勤職員　1 名　2023.12.31　介護職員　1 名 異動　なし
建物・設備	宿泊用ベッド 1 台交換
地域関連	よろず相談　2 件
見学・来所	9 件
研修受入れ	0

４．事業報告

年間実績

		4 月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	平均
登録人数		20	18	18	19	19	19	19	20	19	19	19	19	19
	男	4	3	2	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2.6
	女	16	15	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17	16.3

通い	実利用	20	18	18	19	19	19	19	20	19	19	19	19	19
	延べ	342	295	283	326	344	348	386	386	391	383	372	352	350.6
	日平均	11.4	9.5	9.4	10.5	11	11.6	12.4	12.8	12.6	12.3	12.8	11.3	11.5
泊り	実利用	5	3	4	6	5	5	5	7	5	5	7	6	5.2
	延べ	80	65	75	97	89	96	92	94	107	107	97	92	2.9
	日平均	2.6	2	2.5	3.1	2.8	3.2	2.9	3.1	3.4	3.4	3.3	2.9	2.9
訪問	実利用	16	15	15	17	17	16	17	17	17	16	17	17	16.4
	延べ	369	322	298	326	374	361	365	340	307	307	309	281	328
	日平均	12.3	10.3	9.9	10.5	12	12	11.7	11.3	9.9	9.9	10.6	9.0	10.7
新規		0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0.25
取消		0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.3
見学		1	1	0	1	0	1	0	2	1	2	0	0	0.75

加算等の状況

初期加算	認知症加算（Ⅰ）	認知症加算（Ⅱ）
看護職員配置加算（Ⅲ）	介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	介護職員等特定処遇改善加算（Ⅱ）
総合マネジメント加算	訪問体制強化加算	科学的介護推進体制加算
ベースアップ等支援加算		

介護度別年間延べ利用者数

	延べ利用者数（年間）			月別
	宿　泊	通　い	訪問（回数）	登録者数
要支援１	0	224	201	12
要支援２	0	206	231	12
要介護１	0	155	0	12
要介護２	198	1313	1653	84
要介護３	17	653	305	37
要介護４	874	1239	718	49
要介護５	2	418	828	22
合　　計	1091	4208	3936	228

アクシデント・苦情報告件数

項　　目	ヒヤリハット	軽微事故	受診事故	苦情・要望
今年度	95	9	0	8
昨年度	100	11	0	0

運営推進会議

月日	出席者数
4/25	7
6/27	7

行事記録

月日	内容	月日	内容
4/13	ツツジの花見	9/29	十五夜（お団子作り）
5/2	四季の森こいのぼりと散策	10/1	自治会のお祭り

8/22	5		5/28	自治会スポーツフェスティバル	10/18	もも秋祭り
10/24	7		7/7	七夕祭りと流し素麺	10/23	合同防災訓練（消防署指導訓練）
12/26	5		8/5	自治会盆踊り	12/21	クリスマス会
2/27	8		8/12	ブドウ狩り（八朔ブドウ園）	2/3	節分（恵方巻作り・豆まき）
			9/18	敬老の日のお祝い	3/3	ひな祭り
			9/23	お彼岸(おはぎ作り)	3/17	オレンジカフェ

紹介事業所別実利用者数（年度末）

事業所名	人数	事業所名	人数
聖マリアンナ医科大学	1	藤が丘リハビリテーション	1
新戸塚病院リハビリセンター	1	あいばなケアセンター	1
横浜労災病院	1	横浜市福祉サービス	1
リハセンターさわやか	1	中山地域ケアプラザ(包括)	2
荏田記念病院	1	横浜新緑総合病院	3
市ヶ尾ポポロ GH	1	昭和大学北部病院	1
ご家族	1		
よろず相談	3		

外部・内部研修

月日	外部研修（オンライン含む）	参加者数	月日	内部研修	参加者数
4//28	介護で求められる接遇意識	2	4/28	接遇について	14
5/31	倫理及び法令順守	2	5/31	認知症の理解	13
6/30	認知症及び認知症ケア	2	6/30	熱中症の症状と予防	10
7/31	事故発生又は再発防止	2	7/31	食中毒の予防	9
8/31	非常災害の対策	2	8/31	高齢者の権利擁護・身体拘束・虐待防止	12
9/3	中山町防災避難訓練	3	9/29	緊急時の対応に関する研修	13
10/30	身体拘束の排除の為	3	2/28	認知症の理解と対応	10
11/30	感染症・食中毒の予防及びまん延防止	4	3/29	コロナ感染症対策と対応	11
12/28	プライバシー保護の取組み	4			
1/31	介護予防及び要介護度進行予防				
6/7~7/12	実務者研修	1			
3/29~6/21	認知症介護実践者リーダー研修				

緑事業所デイのんな

理念　「いくつになっても住み慣れた地域で、その人らしく暮らす」

１．事業概要

デイサービス　　１８人

２．施設の概要

・所在地　横浜市緑区中山 2-6-1

・定員　18 人

・事業開始日　２０１３年（平成 25 年）１1 月 1 日

３．施設報告・職員状況（3 月 31 日）

職員状況

	管理者	生活相談員	看 護 師	介護職員(うち介護福祉士)	機能訓練指導員
常　勤	1	1		1	
短期常勤		2		2（2）	
非常勤			3	6（3）	3
合計	1	3	3	9（5）	3

一般事業・職員の活動等

事　項	
人　事	採用・退職・異動　（日付、職種、人数） 異動（入職）:（4/1、介護職、1 名） 退職：（4/25、ドライバー、1 名） 退職（10/4、介護職、1 名）
建物・設備	9 月洗面台温水器故障。取り換え、11 月洗濯機故障。購入 12 月リースカーテン満了。返却して新しいものを購入。
地域関連	4 月炊き出し 7 月おひさまスマイル保育園に七夕用の笹を届ける。
見学・来所	ケアマネ見学：6/8　1 名。
研修受入れ	なし

４．事業報告

1）利用者数：目標とした平均利用者 12 人には及ばず、3 月末は 8.8 人、年平均で 8.6 人でした。年度当初の登録者数は 29 人、年度末は 33 人でした。年間新規利用者は 15 人ありましたが、一方で 15 人の取りやめがありました。（死亡 5 名、入所 5 名、自宅療養 3 名、他のデイに 1 名、引っ越し 1 名）。見学数は 18 件→26 件に増えました。

営業としては「のんな便り」を年4回作成、新規訪問の資料にしています。毎月ケアマネに直接実績を持っていき、空き情報を伝えパンフレットを渡しています。屋外歩行訓練や手作業、季節を感じるレクリエーションなどをアピールしています。前年度はあまり出来ていなかったHPの更新もやっております。ケアマネジャーに対し紙の報告が弱くなっていたのでケアカルテの情報提供表を使って報告を開始し、信頼をして頂けるよう丁寧な報告を心がけています。

2）2階ガーデンハウス・もものショート利用ができることをご家族やケアマネジャーに周知し反響がありました。実際に2名の方が利用されました。行くはずのショート先がコロナのため行けなくなり緊急で利用された方などがいらっしゃいました。

3）レクリエーション担当を決めたことでイベントがより印象的なものになっています。（流しそうめん、神輿作り、浴衣撮影、鳥居作り、絵馬作り、顔出し雛パネル撮影など）

4）車輌事故が続いたことで職員会議での研修や注意喚起、外部講師を頼んで講習会を開くなどしました。

年間実績等（年度末登録者数:通所介護　24　人、介護予防　9人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年	昨年
登録者数	29	30	30	31	30	29	30	30	30	31	33	33	30.5	34.9
利用者数/日	8.2	8.3	8.5	8.2	8.6	8.9	8.0	8.9	8.6	8.7	9.5	8.8	8.6	9.9
新規	1	3	1	2	2	0	1	2	1	1	2	2	15	12
取消	2	2	1	2	2	1	1	1	1	0	2	0	15	17
利用の見学	3	5	3	4	1	1	4	0	2	0	2	1	26	18

介護度別年間延べ利用者数（介護予防・日常生活総合支援事業含む）

	要支援1	要支援2	小計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計
	66	433	499	593	988	172	339	70	2162

加算等の状況

入浴介助加算（Ⅰ）	個別機能訓練加算（Ⅰ）イ	通所型独自サービス運動器機能向上加算
サービス提供体制強化加算（Ⅲ）	介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	介護職員特定処遇改善加算（Ⅱ）
介護職員等ベースアップ等支援加算		

アクシデント・苦情報告件数

項　　目	ヒヤリハット	軽微事故	受診事故	苦情・要望
今年度	195	4（車）、3	0	2
昨年度	230	4（車）、3	2	2

紹介居宅介護支援事業所別実利用者数（年度末）

事業所名	人数	事業所名	人数
あゆみ	8	MORI	2
中山地域ケアプラザ	7	鴨居地域ケアプラザ、愛コムネット	各１
翡翠の舞	3	緑介護事務所、アイリーライフ	各１
横浜セラトピア	3	ツクイ、あいばな	各１
加賀原地域ケアプラザ	2		
緑区医師会	2		

行事記録(研修受け入れ含む)＞

月　日	内　　容
4 月	つつじ見学、苗の植え付け
6 月	おやつレク　クレープ作り
7 月	流しそうめん、笹に短冊
8 月	お神輿作り、浴衣着付け撮影
9 月	夏祭り、敬老御膳、栗ご飯週間
10 月	ミニ運動会
12 月	クリスマス会、柚子湯週間
1 月	のんな初詣、絵馬祈願
2 月	節分、豆まき
3 月	飾りつけ、顔出し雛パネル撮影、菜の花見学

外部・内部研修

月日	外部研修（オンライン含む）	参加者数	月日	内部研修	参加者数
8/30	安全運転講習会	12	5/26	床に横になっている人を立たせる	10
9/8	営業の基本	1	6/14	ドライバー、添乗者研修	10
9/21	LIFE を武器にしたデイの～	1	7/26	虐待防止	11
9/27	選ばれるデイサービス	1	9/27	看護師からの引継ぎ注意点	11
1 ～ 3 月	認知症実践者研修	1	11/27	介護予防体操　背中の丸まり改善体操	10
			12/20	感染予防　嘔吐物処理	10
			1/29	緊急事態マニュアル	10
			2/26	介護職が使ってはいけない不適切な言葉	11
			3/26	入浴介助マニュアル	10

（管理者　本間　茂）

子ども事業部

子ども事業理念　「0歳から6歳、藤雪会は生きる根っこの育ちを支えます。」

いよいよ、少子社会を迎え保育事業も新時代に入りました。国では「誰もが通える保育園事業」がモデル事業として始まりましたが、当法人は、これまで実践してきた「一時保育事業」と同様と理解しました。各事業所は、2023年度も、地域の子育て応援（保護者支援）に取り組みました。
園児一人ひとりの育ちを支える保育を実践するとともに「地域のお役に立つ保育園」を意識して事業を進めました。異業種間交流などは、チャンスを創り出すまでには至りませんでしたが、おひさまっこ保育園では、地域の農業者から有機野菜等を購入し給食に活用するなど連携を進めています。

1．各事業所は、「待つ保育」（児の自ら伸びようとする力を育む保育）を実践し、保育の質の向上を目指しました。子ども主体の保育の追求にこれからも努力を続けます。

2．「地域福祉」への貢献

（1）通常保育、一時保育、病後児保育、休日保育、障がい児保育、児童デイサービス、放課後デイサービス等の事業を通して「地域の子育て・子育ち」を応援しました。

特に、子育てに疲れた親や養育に課題のある家庭のセイフティネットとして機能するよう努力し、関係機関（民間児童デイサービス、児童相談所、保健福祉センターなど）とも連携し支援を行ないました。

（2）育児相談、子育て応援講座、施設の地域開放、親子サロンなどを実施しました。地域の子育て応援グループとの連携を図りました。

（3）放課後の子ども達の受入れに関する事業の可能性については次年度への課題として残りました。

3．法人内研修への取り組み

（1）各事業所の人材育成につながる研修として民間機関を活用して新人、中堅、リーダー、施設長に関する研修を行ないました。

（2）各事業所の危機管理意識や保育内容の向上を図るための研修については、各自治体、横浜保育センターなどが開催する研修に参加しました。

4．園評価

「保育園小さなほし」「おひさまっこ保育園」が年度内に終了しました。共通の評価項目は、「運営の基本理念への理解」「児を主体とする保育の実践」「地域との連携」です。自己評価、園評価ともに「評価」が目的ではなく人材育成の「手段」として機能するよう次年度に向かいます。

5．健全な事業運営を継続するために経費の見直しに取り組みました。

（子ども事業部長　佐藤洋子）

まんまる保育園

１．施設の概要

・名称：まんまる保育園
・所在地：川崎市中原区上小田中 1－29－20
・定員：80 人
・敷地面積：870.1 ㎡
・建物床面積：774 ㎡
・構造：鉄骨造り
・運用開始日：平成 25 年　4　月　1　日

２．事業概要

（１）　通常保育　　7 時～20 時（18 時～20 時延長保育）　　定員 80 人
（２）　一時預かり保育　　8 時 30 分～18 時 30 分（17 時 30 分からは延長保育）　定員 10 人

３．事業計画

「こども、保護者、地域」の安全基地をめざします。（地域福祉に貢献できる保育園）
「0 歳から 6 歳　生きる根っこの育ちを支えます」

（１）保育部門

１）待つ保育（児の育ちを支える保育、共に育つ保育）実践のため、外部・園内問わず研修の受講後３ヶ月ごとに振り返りシートを活用し日々の保育実践に繋げました。
また、保育計画では、S-P-D-S-A サイクルの実践に努力しました。
園内研修で、待つ保育の上手くいかなかった事例のエピソードを記録し検討を重ねています。

２）引き続き保育園運営への職員の当事者性を高めることに努めました。
①リーダーは、保育実習や中学生の職場体験学習などの機会を保育士の質の向上に繋げるという目的をもって対応しました。
②職員一人ひとりの考える力を高められるよう仕事の分担を進めました。

３）ICT を活用し、スタッフ間の情報の共有、共通の理解・認識を深めチームワーク力を高め保育に取り組む努力を続けました。

（２）給食部門

１）「からだ・こころ育て」の食育計画は保育と連携し実践しました。
２）日々の厨房業務に S-P-D-C-A サイクルを活用し業務の点検等進めました。
３）食事部門のリーダーは、園内研修に参加し「待つ保育」への理解を深めました。
保育との連携が、これまで以上に進みました。

（３）一時保育部門

認可保育園入園の条件が緩和され利用者数が減少傾向にある中、緊急一時利用が増えました。
また、再就職の研修や就活のための利用ニーズもあり昨年度より利用者は増加しました。
今後も、就労の他、子育てに疲れた保護者や養育に課題のある家庭などへのニーズに応えてい

きます。

（4）地域活動部門

1）2，3月を除き毎月1回離乳食講座を開催しました。離乳食を進めるにあたっての不安や調理方法などを伝えることができ参加者の不安解消に繋がり、子育ての悩みもお互いに打ち明けるなどサロンとしても機能しました。

2）助産師さんの母乳ケア＆ママサロンは今年度も取り組みました。

3）地域の異業種企業（事業者）との連携は次年度への課題になりました。

事業詳細

年令別・月別園児数

	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4
1	14	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
2	15	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	16
3	15	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
4	15	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
5	15	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
計	80	94	94	94	94	94	94	94	94	94	94	94	90

職員報告　　3月31日現在

	施設長	保育士	栄養士	調理員	事務	用務	合計
国基準	1	14	1	2	0	0	18
常勤	1嘱託	16	1				18
非常勤		5		4	1	1	11
	1	21	1	4	1	1	29

特別保育事業実施報告

事業内容	実施日数		実施延べ人数	
	今年度	昨年度末	今年度	昨年度末
一時預り保育	243	242	998	537
母乳ケア	8	8	15人	27　人
離乳食講座	7		23組66人	

※離乳食講座は、父親の参加もある

月別活動予定（園児関係）

月日	活動報告	目標・成果	月日	活動報告	目標・成果
4/	入園進級祝う会（各クラス）	入園・進級を喜び合う	10/	まんまるフェスティバル（幼児）	運動、表現面での成長を喜び合う。自分の目標をたて達成する努力を体験する
			10	親子運動遊び(2 歳児)	親子で楽しむ
6/	なかはらっこシアタ	動画配信で楽しむ	2 月	お楽しみ会（幼児）	保護者参加
7/	七夕のつどい		3 月	お別れ会（幼児）	卒園・進級への期待
7/	水あそび	季節の遊びを楽しむ	3 月	遠足（幼児）	遠くまでの遠足
			3 月	卒園式（年長児）	入学への期待
（その他　定例行事） 毎月：誕生会、身体測定、健康診断（0，1 歳児は 2 か月に 1 回、2 歳児以上は 4 ヶ月に 1 回)、 避難訓練（地震　火災　避難）　（洪水　不審者）年 2 回					

外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数（月・週　　回）
英語で歌やゲームなどを楽しむ	斎田	月 1 回（3 歳以上児）各 30 分間（出席の園児家庭が月 100 円を負担）

研修実施計画

（1）外部研修　（対面研修・WEB 研修）

月日	研修内容	研修者数	月日	研修内容	研修者数
4 月～	新人研修	2 人～	8 月～	子どもたちと職員の命を守る保育施設防災	4 人
5 月～	インクルーシブ保育 0.1.2 児の保育	5 人 16 人	9 月	保護者支援･子育て支援	5 人
7 月～	離乳期の口腔内の発達と食事介助	4 人	6 月～9 月	保健衛生・安全対策 食育・アレルギー対応	各 1 人・キャリアアップ研修
8 月	栄養士研修（川崎市）	1 人	10 月	支援が必要なお子さんと保護者への対応 2 人	
11 月	不適切な保育とはどのようなことか	5 人	2 月	相談援助の基本　2 人	
3 月	子どもの口腔機能の発達と食事提供	2 人	3 月	幼児保育　　1 人	

（２）内部研修（園内研修・法人研修）（状況・テーマに応じて、全体・グループ別で開催）

月日	研修内容	研修者数	月日	研修内容	研修者数
4,5月	法人理念　全体的な計画（保育理念･事業運営方針）の理解	全職員	４月～年間	「待つ保育」の実践事例報告評価点検➡　今後の保育計画	全保育者
4,5月	心肺蘇生　異物除去	全保育者	10月	子どもを主体とする保育（寺井さんを招いて）	全保育者＋栄養士
5月	園内外の安全点検	全職員			
5　月～年間	児の人権（主体性）を尊重する保育　（人権チエックリストの活用・振り返り） 児の発達の連続性の学び	全保育者	2月	子どもを主体とする保育 0歳から2歳の時、どれだけ受け止められていたか。児を学ぶ＝人を学ぶ　「問い」の大切さ「課題」が自分の「学び」になるなど	全保育者＋栄養士
			通年	受講した研修が日々の保育実践に活かされているか 3 ヶ月毎に振り返りシートを活用し達成度を確認している	全保育者
6月初旬	水、プール遊びへの危機管理	全保育者			
※ケース会議・・・・・随時					

月日	研修内容	研修者数
4月	法人を知る（藤雪会とは）	5人※2022.11月に開催された記念イベントに参加できなかった職員。

合同会議

事業所連絡会	必要に応じて開催
施設長連絡会	毎月（Zoom開催を予定）施設長の研修につなげる
全体ミーティング	年間3回
部門	保育MT毎月　食事MT毎月　行事等担当者MT随時　午後MT毎日

※幼児クラス・乳児クラス　「待つ保育」MTの定例化については、各自が保育実践の振り返りを行なうことから始めました。

アクシデント　苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	492	402
軽微事故（とげ）	6	6
受診事故	2	2
苦情・要望	0	0

一般事業・職員の活動予定

事項	
人事	採用・退職・異動　（日付、職種、人数） 採用：4 月 1 日　常勤保育士 1 人（新卒者） 退職：8 月 31 子育て支援員（常勤）退職 3 月 31 日　常勤・非常勤保育士（各 1 人）退職
建物・設備	砂場の砂補充　　換気扇の洗浄
地域関連	子育て支援連絡会　児童発達支援「マオポポ」との連携 大谷戸小学校 2 年生のまち探検 6 人受入れ　　西高津中学 2 年生 5 人職場体験受け入れ 年長児クラスのまち探検（近隣の美容室訪問）
見学・来園	親子見学の受け入れ（4 月～3 月）108 組　　※父親の参加も多い 就労支援センターとの連携（障がい者雇用） 卒園児（中学 2 年生 2 人）の保育ボランテイア受入れ
実習生指導	7 月　洗足こども短期大学　1 人 9 月　洗足こども短期大学 2 年生　2 人 9 月　大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川 2 年生 1 人 2 月　洗足こども短期大学 1 年生 1 人　　フェリシアこども短期大学 1 年生 2 人

（施設長　　佐藤洋子）

保育園 ViVi

理念「子どもの生きる力を育てます」

１．施設の概要

・所在地：厚木市水引 2-12-29YM ビル

・定員：40 名

・開所日：2004 年　4 月　1 日（NPO 法人開所日　2003 年　2 月）

２．事業概要

（１）通常保育　　7 時 30 分～18 時 30 分　　定員 40 人　（延長保育～19 時）

（２）一時預かり保育　　8 時 30 分～16 時 30 分　　定員 5 人

３．事業報告

(1)　保育部門

（ア）『保育園ＶｉＶｉは子どもの生きる力を育てます』

・散歩、遊び、給食を通じて「よく食べ、よく眠り、よく遊ぶ子ども」を大事にします。

・「自分が好きな子ども」になるように保育士は子どもの安全基地になります。

・異年齢保育の特性を生かし、子どものできる力を信じて「挑戦する子ども」を育てます。

・子ども同士の関わりを大切にし「友達の思いを感じる子ども」を育てます。

・保育者間において、担任クラスだけでなく園全体の把握を意識し、午後の保育時間の担当を流動的に配置しました。それには、保育設定を担任が整える必要があり、またそれを分かりやすく伝える必要もあり保育者が考える力を発揮するいい機会となりました。実施してみると、子どもたちも色んな保育者に触れ合う機会があり、担任以外の遊びを楽しめ、それが担任にいい刺激となって帰るという循環が生まれました。次年度担任決めに参考となる場面も多く見られました。保育者みんなが、全員を把握できている安心感が以前より増しています。新年度に入っても継続中。

（イ）子どものよりよい育ちを支える為に個別に保護者支援を行いました。

・3 人、2 人と在園している家庭では、感染症が家庭で出ると順番に罹患していくことが多く、保護者は交代で休まざる負えなくなります。罹患していない兄弟を預かり、保護者の休息が取れるよう仕事外で土曜日利用などの個別配慮を行いました。その他、声を上げにくい保護者を園長・主任・副主任・リーダー層がキャッチしています。

・要対協対象の児は長い目で支援していく必要があります。保護者の様子・児の様子に注視しながら家庭相談課、他関係各所と連携を続けています。

（ウ）外部研修、内部研修（日々の振り返り、ヒヤリハット）、自己チェック表を通じて保育士の資質向上に努めています。

・前述した午後の保育者の流動的な配置がそのまま内部研修となり、新たな視点が加わる事で園全体で子どもたちをみているという雰囲気が出来ました。

・ヒヤリハットは全職員が目を通しチェック。ミーティングにて今の子どもたちの関係性やトラブ

ルの傾向を分析・共有。事故につながる恐れのある事項には、対応策を共有。安全面での共有すべき事項や変更事項を確認。下半期よりヒヤリハット記入の記入の中に、こんな危険を発見して対処した、こんな重大事故につながる可能性があるというような予見の記入が出てきてきました。これを、推奨し予見の力を全体でつけていきます。

(2)　給食部門

・食育活動、離乳食相談、園便りを通じて保護者に発信しています。

・地域育児センター事業として、親子に離乳食・給食試食会を行い、栄養士と話をする機会を設けています。大変好評であり、次年度も回数を増やして継続していきます。

・在園保護者の保育参加時に給食を食べてもらう機会を設け、保護者への食育の発信としました。レシピの公開を献立表で行っていました。レシピの要望、個別にも対応しました。

(3)　一時預かり

・12 月より職員配置が出来ず、休止とした。電話対応時に親子サロンに誘い繋がる方も多かった。4 月からの再開に向けて、3 月より調整をしている。

(4)　親子サロン

今年度より月に２回実施。園見学時に紹介すると、参加に繋がるケースが多かったです。担当職員を２人として増えている参加者にも対応できるようにしました。なるべく、希望者が全員参加できるように予約制ではない形とし、大人数の参加に対応できるような想定をしました。離乳食の試食・給食試食が人気で、ご両親での参加も増えてきています。親子サロンのようなものがないとのことで、他市からの参加もありました。

事業詳細

年令別・月別園児数

	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	5	3	3	3	4	4	4	6	6	6	6	6	6
1	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
2	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
3	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
4	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
5	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
計	40	40	40	40	41	41	41	43	43	43	43	43	43

職員報告　　3 月 31 日現在

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	その他	合計
基準数									
常勤	1	11	0	0	0	2	0		14
非常勤		3	0	0	1	0	1	2	7

月別活動記録（園児関係）

4月	入園進級式	全園児	10月	洪水訓練	全園児
5月	内科検診	全園児		内科検診	全園児
	尿検査	幼児	11月	消防見学	全園児
6月	歯科検診	全園児		幼児運動会	幼児
7月	プラネタリウム	4,5歳児	12月	歯科検診	全園児
	プール開き	全園児		もちつき	全園児
	七夕	全園児		クリスマス会	全園児
	夏祭り	全園児	2月	節分	全園児
8月	夕涼み会	年長児	3月	防犯教室	全園児
9月	お楽しみ会	幼児		卒園式	4，5歳児
	運動会	乳児			

（その他　定例行事）

・身体測定（毎月）　・クッキング（毎月）

・園外保育・幼児（年10回）こあら（年1回）

・誕生会（毎月）　・YMCAスイミング4,5歳児（年10回）

・避難訓練（毎月）　・防犯訓練（年2回）　・洪水訓練（年1回）

外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数　（月・週・回）
YMCAスイミング	勝見祐貴	月1回（年10回）

特別保育事業実施報告　　3月31日現在

事業内容	実施日数		実施延べ人数	
	今年度	昨年度末	今年度	昨年度末
一時預り保育	97日	176日	157人	333人
延長保育	101日	38日	124人	43人
休日保育				
親子サロン	21日	9日	大人105人 子供114人	大人26人 子供28人

研修実施報告

外部研修

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
4/3	藤雪会とは	1	10/3	厚木市中堅職員交流会	1

6/19	白峰　乳児研修	1	10/3	白峰　乳児保育	1
6/29.30	白峰　乳児救急法	1	10/3	厚木市中堅職員交流会	1
7/25	厚木市民間保育会新人交流会	1	10/1811/28	乳児への適切な関り	1
8/23	幼児研修	1	11/8	子どもの人権	3
8/24	感覚統合について　まめの木	1	11/10	わらべうた	5
8/26	カンボジアの子ども	4	9/511/14,10/19,2/9	保健衛生・安全	1
9/1	白峰　乳児の発達特徴	1	11/13,12/4,1/30,2/14	食物アレルギーの食事と管理	1
9/7	白峰　幼児研修　5歳児	1	1/23,2/29	幼児教育	1
9/28	みんながしあわせになる保育	6	10/4,11/20,12/8	保護者支援・子育て講座	1
8月～	ポラリス　保護者支援	3			
8月～	ポラリスマネージメント	2			

内部研修(園内研修)

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
4/21	食べる　安全研修	16	7月	ヒヤリハット共有	16
5/30	寝る　安全研修	16	9/4.5	ヒヤリハット共有	16
6/7.8	散歩　安全研修	16	10/21	ヒヤリハット共有	16
6月	水遊び　安全研修	16	1/24	ヒヤリハット共有	15
6/16	3施設合同研修　人権	12	2月	ヒヤリハット共有、次年度について	15

合同会議

事業所連絡会	厚木事業連絡会（感染予防の為未実施）
施設長連絡会	月1回（メール、on-lineにて実施）
全体ミーティング	適宜
部門会議	クラス会議、係会議（月1回,適宜）

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	495	562
軽微事故	3	1
受診事故	2	2
苦情・要望	0	2

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	採用・退職・異動　（日付、職種、人数） R5.4.1　保育士　常勤　1名採用　R5.11.30　保育士　常勤1名おひさまっこへ異動 R6.3,31 保育士　常勤　1名退職
建物・設備	エアコン・消防設備　定期メンテナンス（年2回） 厨房機器（随時）
地域関連	・しみず公園の地域清掃に学童保育なないろのたね、デイルームとんとんと連携して参加。 **・同じマンション居住の方から、声を掛けて頂き2年間10月にとピアノコンサートを実施して頂いた。日常的に挨拶をかわしている。マンションの共有部分の情報共有を立ち話でしたり、コロナ禍を励まし合う関係性が築けており、大事にしていきたい。今年度も11月に実施。卒園式の職員合唱の伴奏にも加わっていただいた。**
見学・来園	随時受け入れ。朝の散歩出発の様子を見てもらい、園内見学。親子の様子によっては親子サロンに参加を誘う。
体験学習	あつぎ東高校3年生インターシップ8月受け入れ。
実習生指導	前期無し　後期　**アルファ医療専門学校2年生1名**
アルバイト	アルファ医療専門学校2年生夕方　2時間　週5回

（ 施設長　西脇　あやこ）

おひさまっこ保育園

理念「子ども・保護者・職員・地域が共に育ちあう保育園です」

・子どもの生きる力を育てます
・職員の考える力を育てます
・子育て家庭の応援団になります
・地域（社会）に貢献します

1　施設の概要

・所在地：厚木市東町 7－2－2－2F
・定員：　60 名
・開所日：　2015 年 10 月 1 日　（NPO 法人開所日 2010 年 10 月 1 日）
・移転日：　2020 年 4 月 1 日

2　事業概要

（3）	通常保育	7 時 30 分～19 時 00 分	定員 60 人
（4）	一時預かり保育	8 時 30 分～16 時 30 分	定員 5 人
（5）	休日保育	8 時 00 分～18 時 00 分	定員 6 人

3　事業報告

・2022 年度に引き続き、おひさまっこ保育園の理念、浸透に努めました。

① 保護者交流会（年３回実施）を通じて、園理念を発信しました。
園理念の根拠やジョーゼット布とボールを使って園理念のイメージを伝えました。

② 保育参加（園児 61 名のうち 56 名参加）を通じて日々の保育の様子を保護者に伝えました。
またクラス毎月１回のブログ更新、行事ごとのブログ更新も行いました。

・地域・他施設との繋がりを作りました。

① 子育てサロン…給食試食会（7/6）演劇鑑賞（11/18）味噌作り（2/10）を実施し、地域の方に保育園に来て頂く機会を作りました。どの企画も好評でした。

② 地域の方からカブトムシの寄付を頂いたり、連携園との交流を行いました。

③ 療育機関…まめの木、ひよこ園に訪問、保育園来園を行い、カンファレンスを行いました。

・職員の考える力を育つよう研修を行いました。

① わらべうた研修（年３回）・ポラリス基礎研修（随時）事故報告・苦情・事例報告・ニュースからの園内研修（随時）

② キャリアアップ研修受講　13 名

（1）保育部門

・0.1.2 歳児保育…緩やかな担当制を行い十分な受容・応答的な保育の実践を行いました。

① 担当制にしたことで子ども一人ひとりを丁寧に保育することができました。（朝・夕の自由遊び時の一人遊びの保障、引っ掻き、噛みつき件数の減少等の効果もありました）

② 1.2 歳児クラスでは年間を通じて子どもの発達に合わせた保育環境構成に取り組むことができ

ました。

・3.4.5歳児保育…主体的な保育、没頭する保育、継続する保育柱として保育実践を心がけました。

① ４月に4.5歳児全員にやりたいことを聞き取り、一人ひとりの〇〇やりたい気持ちを実現しました。友達のやりたいことを知り、一緒に楽しむ姿もみられました。

② 夏祭り・運動会・お楽しみ会の行事は子どもと相談しながら、出し物や制作を行いました。中でも運動会のメダルや入場ロボットは子どもが次年度を楽しみにする程になってきました。

・合理的配慮の必要な子どもの個別支援計画を保護者・療育機関と連携して作成し、支援計画に基づいた保育、振り返りを行いました。

① 必要に応じて、保護者面談を行い、子どもの様子を丁寧に伝えました。また保護者の困り事を伺い子育て支援を行いました。

・年間を通じてインクルーシブ保育について学び、実践を目指しました。

① 合理的配慮の必要な卒園児４名が就学予定の学校に３月に来園してもらいました。子どもの様子を丁寧に（保育現場に同行、カンファレンス）伝えることができました。

（２） 給食部門

・手作り・季節の食材を基本に温もりのある給食の提供に努めました。

・離乳食・アレルギー食は個に対応し、安全な給食作りに努めました。

・厨房と保育士が連携して、食文化を大切にした食育に取り組みました。

（地域の有機農家を探し、有機野菜を給食に取り入れ始めました。また10月からはお米も有機米に切り替えました。）

（３） 一時保育

・就労支援・リフレッシュ・上の子幼稚園の行事参加等、利用理由にとらわれずに、可能な限り受け入れを行いました。

（4か月、7か月児を緊急対応して延べ３回受けました。利用理由:姉の入院と母の資格更新）

（綾瀬市・大和市在住厚木市在勤の子どもの定期的な利用もありました）

（４）休日保育

・一人ひとりが安心して、楽しく過ごせるように保育をおこないました。

（伊勢原市在住、東京都在勤姉妹…月2～3回利用　保険・保育料を保護者の実費負担で受け入れました。）

（５）地域支援・社会貢献

・子育てサロン、講演会を行いました。

・お下がり交換会で残った衣類を「古着でワクチン」を利用し海外支援を行いました。

事業詳細

年令別・月別園児数

	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	5	2	4	4	5	5	5	5	5	6	6	6	6
1	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

2	11	9	8	8	8	9	10	10	10	10	9	9	8
3	11	12	12	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12
4	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
5	11	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
計	60	58	58	57	58	59	61	61	61	62	61	61	60

職員報告　　3 月 31 日現在

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	その他	合計
国基準	1	11			1				15
常勤	1	10	1	1	2				15
短常勤		1					1		2
非常勤		4	1		1				6

月別活動記録（園児関係）

月	活動予定	目標・成果	月	活動予定	目標・成果
４月	入園式 交通安全教室 新年度 5 分面談	入園、進級を祝う 道路の歩き方を知る 保護者との関係作り	10 月	お楽しみ会	普段の子どもの様子を保護者にみてもらう（わらべうた等）
5 月	田んぼ遊び 緑ヶ丘小学校訪問	泥んこ遊びを楽しむ 幼学連携	11 月	個人面談	保護者との連携（希望者のみ）
6 月	災害伝言ダイヤル体験	保護者の災害伝言ダイヤル体験	12 月	もちつき	杵と臼でついた餅を食べてみる。
7 月	プール開き 保護者交流会 教育委員会来日	水遊びを楽しむ	1 月	小学校訪問（年長）	近隣の小学校を訪問する
8 月	夏祭り 夕涼み会	園児・あつぎポポロ交流	2 月	懇談会	保護者間の交流 園からの情報発信
9 月	総合防災体験 防災訓練 運動会	非常食を食べてみる 伝言ダイヤル体験 非常食を体験する 異年齢クラスで運動会まで競技を楽しむ ＪＡＧＹの成果を保護者に見てもらう	3 月	防犯教室 卒園式 お別れ遠足	防犯意識をつける（5 歳児） 卒園をみんなで祝う

外部講師の指導予定

指導内容	講師名	指導回数　（月・週・回）
JAGY	杉町陽子	月１回
わらべうた研修	二階堂恵子	年３回

特別保育事業実施報告

事業内容	実施日数		実施延べ人数	
	今年度末	昨年度末	今年度末	昨年度末
一時預り保育	140 日	188 日	198 人	257 人
休日保育	49 日	40 日	86 人	79 人
親子サロン	7 月 6 日実施 11 月 18 日実施 2 月 10 日実施		8 名参加 39 名実施 25 名実施	

研修実施報告外部研修

月　日	研修内容	参加者数	月　日	研修内容	参加者数
４月	交通安全	15	9 月	子育て支援員研修	1
４月	心肺蘇生法	19	11 月	乳児保育について	1
5・6 月	ポラリス研修	12	11 月	新任保育士向けわらべ歌研修	1
6 月	3 施設合同研修	12	11 月	子どもの人権について	4
7・8 月	ポラリス研修	11	12・1 月	食育アレルギー対応	2
8 月	まめの木研修	2	2 月	頭のセットを変えてみよう	1
8 月	保育実践研修	1	2 月	園外活動の安全確保	2
			随時	キャリアアップ研修	13

内部研修（園内研修）

月　日	研修内容	参加者数	月　日	研修内容	参加者数
4 月	法人について	3	10 月	リスク勉強会	4
5 月	保護者対応	12	10 月	嘔吐処理について	11
6 月	散歩マニュアル	14	11 月	わらべうた研修	9
7 月	保護者交流会	14	1 月	ヒヤリハット研修	3
7 月	プライベートゾーン	1	2 月	わらべうた研修	12
7 月	リスクマネジメント	5	2 月	食べる・寝るについて	12
8 月	わらべうた研修	11	3 月	怪我・ヒヤリハット	9

会議

事業所連絡会	月１回
施設長連絡会	月１回
全体ミーティング	その都度　（掲示・口頭）
部門会議	クラス会議　　厨房会議　係会議　（月１回）

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度末	昨年度末
ヒヤリハット	521	616
軽微事故（怪我報告）	33	44
受診事故	5	5
苦情・要望	7	16

一般事業・外部との活動予定

事項	内容（詳細）
人事	採用・退職　（職種、常勤・非常勤、人数） 入職　　2023.9　事務員　１名、　2023.9　栄養士　１名 産休・育休　2023.9　調理員　１名 退職　　2024.2　保育士　１名　　2024.3　保育士　３名 産休　　2024.3　保育士　１名
建物・設備	エアコン点検・消防点検（年２回）　エレベーター点検（月１回） 自動ドア点検（年３回）
地域関連	一時保育面接（毎週水曜日２名） 園見学（毎週木曜日２名）
実習生受入	実習生受け入れ（２名）、夏休みボランティア（１名） 荻野中学校職場体験（２名）、神奈川県保育実技講習会（４名）

（施設長・管理者　　斎藤美好）

そらまめ保育園（本園）

そらまめ保育園は、心と体の健やかな成長を育み　自分で未来を切り開く力を培います

１．施設の概要

・名称：そらまめ保育園（本園）

・所在地：川崎市多摩区宿河原１丁目１−３２

・定員：７０人

・敷地面積：．２６８．８２㎡・建物床面積：４３５．５８㎡

・構造：鉄骨造園舎の構造・規模：鉄骨造　地上３階

・運用開始日：平成　３１　年　４月　１日

２．事業概要

（１）通常保育　　１歳～就学前　定員７０人

７時～１８時　（延長保育１８～２０時）

（２）一時預かり保育　　８時３０分～１７時　定員７名/１日

３．事業報告

（１）保育部門

・法人の理念・そらまめ保育園の園目標を、職員や保護者への浸透ができるような工夫に努めてきました。来年度も引き続き保護者、職員への周知を高めていきます。

・ICT の導入を目指し活用（職員・保護者間での連携）ができるまでを目標としてきましたが、導入までには至りませんでした。複数の業者から話を聞き効率化を図るために 2024 年度に向けて準備を進めているところです。

・地域公開講座や、そらまめサロン、戸外遊びを通して地域の方々との関係性を深め、地域から必要とされる保育園を目指してきました。そらまめサロンは毎回大盛況でした。

・一人ひとりの子どもの育ちを大事に保育します。

9 月から配慮が必要な保護者（4 歳児クラス女児）第二子出産後に産後鬱になり、北部児童相談所や地域支援保健師と、適切な対応や情報提供ができるよう関係機関と連携し、個別支援を行ってきました。引き続き保護者支援をしていきます。

・「待つ保育」「自主性を育む保育」を大切に考え、職員のスキルアップ研修・自己チェックシート・ヒヤリハット・ケース検討を行ってきました。

・業務や保育環境の点検と改善を図って保育者の事務時間の確保が出来るようになりました。

・幼保小連携では近隣の小学校に出向き、小学校見学や懇談会に参加し、近隣の園との交流も積極的に参加してきました。また多摩区園長会でもグループ別に分かれ幼保→小学校の連携を高めて、児の成長を全体で支えいくには…の研修を継続し幼保小の交流や見える化を図ってきました。2024 年度も継続して研修を行います。

（２）給食部門

・保育士・栄養士が、意見交換や園内研修をすすめていき、日々の保育に活かすよう工夫してきま

した。

・子どもたちの発達に合わせ楽しく、美味しく食事ができるよう保育との連携をしっかり行ってきました。喫食簿による毎日のアンケートで次につなげる工夫をしてきました。

・地域の子育て世代向けに給食試食会や、離乳食講座を開催し、食について一緒に考える機会を作り、大勢の地域の方に参加してもらいました。

・各年齢に応じた食育を給食スタッフと保育者が連携して積極的に行ってきました。

（３）一時預かり部門

・一時保育を始めて初年度だったので、「定員に捉われず、事業を確立していけるよう（広報を工夫）軌道に乗せていく」が目標でしたが、近隣問わず区外からも多くの方々に周知されるようになり登録者も増えました。

・就労、リフレッシュ問わず、多様な背景を抱えた子育て家庭を応援してきました。

・一時保育を始めた事でより深く「地域の子育て・児の育ち」を応援できることを実感しました。

（４）地域活動部門

・年６回地域公開講座と育児講座を開催しました。毎回のテーマを設けて多くの参加を目指して広報をしました。定員 8～10 組で募集しましたが離乳食講座（6 月）保育者と遊ぼう（新聞紙・親子ふれあい遊び）（８月）リトミック（１１月）パネルシアター・エプロンシアター（１月）もキャンセル待ちが出るほどでした。

・地域の子ども・保護者が楽しく交流し、子育ての不安や悩みを語り合う「居場所」となるよう努めてきました。今後も必要に応じて一時保育や関係機関へつなげるように連携していきます。

・リユース会を初めて行いました。(2 月）品物のご協力はかなり沢山ありましたが、3 連休の初日に会を設定したため、思いのほか人が集まりませんでした。参加して下さった方には大変好評だったので、今後は広報の仕方や日程調整をしっかりして行いたいと思います。

事業詳細

年令別・園児数　定員　　本園年令別・園児数：(定員・在園)

	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	8	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
2	8	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
3	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17
4	18	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
5	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
計	70	71	71	71	70	70	70	70	70	70	70	70	70

職員報告　　3 月 31 日現在

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	その他	合計
常勤	1	10				1			12
国基準		4				1			5

非常勤		5	1		2	2			10
合計	1	19	1		2	4			27

月別活動記録（園児関係）

月	活動予定	目標・成果	月	活動予定	目標・成果
4/3	入園式・懇談会	新入園児紹介、在園児職員顔合わせ	10/21	さつま芋掘り（2.3歳児）	土に触れる。秋の味覚を味わう
5/16-6/14	4・5歳児保育参観	保育園での子どもの成長を保護者に見てもらう。	10/30	幼児遠足（3.4.5歳児）	園外遊びを楽しむ。公共交通機関を利用する
6/13	交通安全教室	交通安全について学ぶ	10/24〜11/8	1・2・3歳児保育参観	子どもの成長した様子を見てもらう。
7/27	歯科検診	歯の健康について知る	12/27	クリスマス・発表会	歌や楽器演奏、劇あそびを楽しむ
6/26	プール遊び	水に親しむ	2/3	個人面談	子どもの姿を伝える
7/7	七夕	季節の行事を知り経験し楽しむ	12/27	お餅つき	季節の行事を知り餅つきを経験し楽しむ
7/8	そらまめまつり	親子で楽しむ。保護者の交流を図る	2/3	節分	季節の行事を知り、経験する
8/1	すいかわり	夏の風物詩を体験する	3/3	ひなまつり	季節の行事を楽しむ
9/5.19	お店やさんごっこ	異年齢の交流を楽しむ	3/18	卒園式	卒園を祝う
9/15	敬老の日	祖父母に手紙を送る	3/29	卒園遠足	卒園を喜び、園外保育を楽しむ
10/22	運動会	参加者と楽しむ運動会、体操教室の成果を発表	3/24	おわかれ会	卒園児との思い出を喜び、別れを惜しむ
10/25	年長児交流会	近隣園の年長児との交流	10/25	年長児交流会	近隣園の年長児との交流
（その他　定例行事） 身体測定　　園医健診　　誕生会　　避難訓練　　食育（クッキング）体操教室					

外部講師の指導予定

指導内容	講師名	指導回数（月・週　　回）
体操教室	スポーツコミュニティ指導員	月3回

特別保育事業実施報告　(3/31 現在)

事業内容	実施日数		実施延べ人数	
	今年度	昨年度末	今年度	昨年度末
親子サロン	4 回	3 回	42 人	21 人

研修実施報告

外部研修

月日	研修内容	参加者数
4/3	法人理念・理事長法人研修（藤雪会とは）	5 人
5/18	ポラリス新人若手研修「自己理解」	1 人
5/18	発達支援コーディネーター会議「ライフステージにあった発達支援」 年齢にあった発達状況を知る	1 人
6/1	地域支援連携会議「各園における地域子育て支援の役割・取り組み・ 周知・広報」	1 人
6/9	幼保小連携について	1 人
6/15	支援が必要な児童について	1 人
6/20	離乳食の提供と保護者支援・子どもの歯に見合った食べ方支援	1 人
7/5	紙コップでかえる人形を作って演じよう	2 人
7/14	ポラリス主任研修	1 人
7/18	人権について	1 人
7/20	ポラリス若手研修	1 人
7/31　～ 8/7	危機管理研修「子ども達と職員の命を守る保育施設防災～最初の一歩 を踏み出す	10 人
8/4～	ポラリス主任研修	1 人
8/4～	ポラリスキャリアアップ研修「保護者支援」「マネジメント」	2 人
9/4 9/21	療育施設見学「キッズサポート多摩」について 未就学児に向けた保護者対応	1 人
9/5 9/8	発達コーディネーター「関係機関との連携」 キャリアアップ研修　「発達が気になる子ども達への理解と支援」	1 人
9/13	土渕保育園見学　遊びをとりまく環境設定	2 人
9/7 9/19	人権について ポラリス主任研修	1 人
9/20	スキルアップ研修「子どもと大人が共に育つ遊びの魅力とその伝え方」	2 人
10/16	キャリアアップ研修　保護者支援・子育て支援	2 人
2/14	多摩区　伝達研修	2 人
2/15	不適切な保育について考える	1 名
3/4	障がい児保育	1 名

内部研修

月日	研修内容	参加者数
4/3	法人理念・園の理念目標について	全員
5/19	不適切保育を考える「給食を食べるについて」	18 人
6/10	① 子どもの人権を尊重する保育のため ② 不適切保育を考える第 2 回目	16 人
7/14	不適切保育を考える第 3 回目	16 人
8/25	AED 研修・おう吐処理研修	16 人
12/8	子どもの人権を尊重した保育（9マスシート）	17 名
1/24～	子どもの人権を尊重した保育（ワークショップ）	29 名

合同会議

施設長連絡会	月１回
事業所連絡会	月１回
全体ミーティング	年５回
部門	多摩区園長会（年５回）　幼保小連携（年３回） 多摩区栄養士会議（年２回）多摩区園長補佐会議（年４回）

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	870	697
軽微事故	69	24
受診事故	3	1
苦情・要望	0	0

一般事業・職員の活動等

人事	採用・退職・異動　（日付、職種、人数） ・9/20～非常勤厨房職員 1 名入職・2/1～保育補助 1 名入職 ・3/1 常勤厨房職員 1 名入職 3/31 退職 ・常勤保育士 2 名 3/31 退職 ・常勤保育士 1 名（2/～産休）
地域関連	・親子サロン（施設開放、育児講座） ・多摩区幼保小連携事業 6/9 1/31 ・多摩区園長会　5/19 6/9 10/25 12/22 2/26 ・運動会体育館使用事前調整（宿河原小）9/30 ・5 歳児　宿河原小学校体験 2/13 ・中学生　職業体験 1 名

見学・来園	・未就園児親子の保育園見学 3/31 現在 100 組の見学 3/31 現在一時保育利用者（延べ 583 名）　登録者数　54 名 ・多摩区職員、婦警さんによる交通安全教室　6/13 ・出張講座（嘔吐、下痢）多摩区看護師　小林先生　　9/5・9/6
体験学習	1 名（中学生）
実習生指導	なし
建物・設備	

（施設長　　青山　理栄）

そらまめ保育園（分園）

そらまめ保育園は、心と体の健やかな成長を育み　自分で未来を切り開く力を培います

１．施設の概要

・名称：そらまめ保育園（分園）
・所在地：川崎市多摩区宿河原１丁目１−40
・定員：20 人
・敷地面積：186.59 ㎡・建物床面積：168.44 ㎡
・構造：鉄骨造園舎の構造・規模：鉄骨造５階建て（１階部分）
・運用開始日：平成　２７　年　９月　１日

２．事業概要

（１）通常保育　　７時～２０時　　定員（分園）２０人
（２）一時預かり保育　　本園にて実施

３．事業報告

（１）保育部門

・日々の保育の中で個々の関わりを大切にし、十分遊び込めるような体制、環境を心がけました。
・保育者への甘えたい気持ちを十分に受け止め、個々の関わりを大切にしました。
・1 日の生活の中で、個々の体調や活動の様子に留意し、無理なく生活できるように配慮するように心がけました。
・登園時は保護者が安心してわが子を預けられるように、丁寧に受け入れを行いました。保護者が安心することで、子どもの安心にもつながり、笑顔で手を振って別れたり、すぐに遊びに入る様子が見られました。泣いてしまうことがあっても、その子どもの気持ちを十分受け止めることで、時間はかかっても気持ちが切り替わって遊ぶことが出来ていました。
・自分のしたい遊びで十分楽しめるように、コーナー分けしたり、朝夕の時間帯は、１，２歳児が自由に行き来して遊べるようにしました。また、主に２歳児クラスは製作などを含め、自分のしたいこと、やってみたいことを自分から発言できるような場を設けるよう心がけました。
・天気の良い日には、多摩川、遊歩道（登戸駅方面）、宿河原一丁目公園、登戸第一公園、ほしぞら公園など散歩に出ることができました。場所によって、葉っぱや、砂、虫探しなど自然物に触れたり、見たりといった体験ができました。
　夏は外気温に留意しながら水遊びを主に行いました。
・配慮が必要な子には、療育センターと連絡をとり、保護者との面談も行い、園生活の中で特に配慮が必要な場面や、成長に必要なことを共有することができ、引き続き行っていきます。
・２歳児クラスは、２月に本園の誕生会に参加し、交流をするとともに、本園への進級を心待ちにできるようにしました。また、3月２５日から進級クラスの部屋移動を実施し、現担任のもと、

安心して新しい環境に慣れるように進めていきました。

・月１回の会議では、園内研修で「振り返りリスト」を用いてグループワークを行いました。出来なかった月もありますが、年に２回は「振り返りリスト」で日々の保育を見直せる機会をつくりたいと思います。また、分園ミーティングを行い、クラスの様子や、保育や、保育環境の悩みなどを話し合い、検討・改善する時間を設けました。また、区内保育園へ行き、乳児の環境と子どもの人権についてグループワークを行い、学ぶことができました。

・短時間職員とクラスの子どもの様子について情報を共有したり、保育の中で注意する個所などについて伝えていくことはできました。

（２）給食部門

・子どもの食事について、保護者・栄養士と連絡を密に取り合い進めていきました。特に０歳児クラスは、初期食・中期食・後期食・完了食への移行があり、食事確認表や子どもの咀嚼など栄養士と担任で相談しながら、保護者へ伝え、慎重に進めていきました。

・日々の検食や子どもの食べ具合など、栄養士が実際子どもの食べている様子を見ることで、より子どもが食べやすく、美味しい給食を提供できるように配慮しました。

・毎月の給食だよりの他、玄関の「食育絵本コーナー」の設置、「給食だより」ポスターの掲示も行いました。

・6 月 10 日（土）、地域子育てサロンにて「離乳食の進め方」の講座を開き、地域の方に出汁の取り方や離乳食の試食をして頂き、家庭でもやってみたいなど、感想をいただくことができました。

・季節の食事を感じられるように、担任が子どもたちにそれぞれ「○○が入っているね」「おいしいね」など声掛けを行い、給食からも季節を感じられる折り紙を折って子どもたちにプレゼントする機会を設けました。

（３）一時預かり　　本園で実施

（４）地域活動部門

地域子育てサロン

・6/10　「離乳食講座」

・8/19　「親子ふれあい遊び・新聞紙あそび」

年令別・園児数　定員　分園年令別・園児数：(定員・在園)

	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
1	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
2	7	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7

職員報告　　９月３０日現在　分園

	施設長	**保育士**	看護師	栄養士	調理員	支援員	事務	合計
常勤		6		1	1			8
非常勤		7		1			1	9
嘱託職員								
合計								17

月別活動記録（園児関係）

月	活動予定	目標・成果	月	活動予定	目標・成果
4/3	入園式・進級式	新入園児紹介、 在園児・職員顔合わせ	10/21	さつま芋掘り	土に触れる 秋の味覚を味わう
7/27	歯科検診	歯の健康について知る	10/22	運動会	親子でふれあい楽しむ
7/7	七夕	季節の行事を知る	12/27	クリスマス発表会	歌や劇あそびを楽しむ
6/26	プール遊び	水に親しむ	12/27	お餅つき	季節の行事を知る
7/8	そらまめまつり	親子で楽しむ 保護者の交流を図る	3/2	個人面談	保護者と子どもの成長を喜ぶ 進級に向けての保育説明
8/1	すいかわり	季節の行事を知り 経験し楽しむ	2/3	節分	季節の行事を知り、経験する
9/11～ 10:30	0.1.2歳児 保育参観	保育園での子どもの成長を保護者に見てもらう。	2/10	リユース会	着られなくなった衣服や玩具など
9/15	敬老の日	祖父母に手紙を送る	3/3	ひなまつり	季節の行事を楽しむ
9/5.19	お店やさんごっこ	異年齢の交流を楽しむ	3/18	おわかれ会	卒園をみんなで祝い、感謝の気持ちを伝える
（その他　定例行事） 身体測定　　園医健診　　誕生会　　避難訓練　　食育（クッキング）					

外部講師の指導報告

指導内容	講師名	指導回数（月・週　　回）
出張講座（嘔吐、下痢）	多摩区看護師　小林先生	９月５日、６日

研修実施報告

外部研修

月日	内容	参加者数
5/18.9/21	発達支援コーディネーター連携連絡会	1
5/30.7/18.9/7	園長補佐連携連絡会	1
6/20	多摩区公私立保育所栄養士連絡会	1
6/29	食品衛生研修会	1
7/5	紙コップかえる人形を作って演じてみましょう！	2
7/31～8/7	安全管理研修・防災研修	6
9/13	子どもが夢中になっている遊びと環境	1
9/19～9/26	保護者支援・子育て支援の意義	2
9/29	アレルギー疾患の最新知識	1
2/14	多摩区伝達研修	1
2/15	不適切な保育について考える	1
2/28	乳児の環境と子どもの人権	2
3/4	障がい児保育	1

内部研修

月日	内容	参加人数
5/19	不適切保育を考える　「給食を食べる」について	18
6/10	①　子どもの人権を尊重する保育のために ②　不適切保育を考える２回目	16
7/14	①　ちくちくことば・ふわふわことば ②　不適切保育を考える３回目	16
8/25	ＡＥＤ研修　嘔吐処理研修	16
12/8	子どもの人権を尊重した保育（９マスシート）	17
1/24～	子どもの人権を尊重した保育（ワークショップ）	29

合同会議

施設長連絡会	月１回
事業所連絡会	月１回
全体ミーティング	年５回
部門	多摩区園長会 5/19　多摩区園長補佐会議（年４回） 多摩区栄養士会議(年２回)　9/22 エリア別実技研修

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	683	515
軽微事故	45	
受診事故	0	0
苦情・要望	0	0

一般事業・外部との活動予定

事項	内容（詳細）
人事	採用・退職・異動　（日付、職種、人数） なし
地域関連	・親子サロン（施設開放、育児講座）本園にて実施 ・多摩区園長会　5/19 6/9 10/25 12/22 2/22 ・運動会体育館使用事前調整（宿河原小）9/30
見学・来園	・未就園児親子の保育園見学　100 名 ・西部療育センター職員来園　9/14
体験学習	なし
実習生指導	なし
建物・設備	・(分園）害虫駆除

もものか保育園

【理念】　「元気なからだ」「やさしい心」「かんしゃの心」を育てます。

1　施設の概要

・所在地：川崎市宮前区馬絹 1 丁目 9 番 2 号

・定員：45 名

・開所日：　2015 年 9 月 1　日（NPO 法人開所日　2010　年　4　月　1　日）

2　事業概要

（1）通常保育	7 時～20 時（18 時～20 時は延長保育）	定員 45 人
（2）一時預かり保育	8 時 30 分～17 時	定員 10 人

3　事業報告

（1）保育部門

・理念に沿った保育を職員全員で意識し、実践してきました。 今後も継続します。

・天気の良い日は戸外でたくさん遊び、健康で元気なからだ作りをしました。

・子どもの一人ひとりの個性を認めながら、職員は見守りや待つこと、援助が必要な時は一緒に行い寄り添いながら子どもの声を聞くことや、苦手だったことができた時は褒めて次の自信につながるように、日々の子どもとの関わりや保育を大切にしてきました。

・個別対応が必要な子は、日々の様子や保育園での対応を保護者に伝えながら、面談を行ってきました。保護者から直接、外部のサポートに繋がったケースもあります。職員間でも園児の様子や対応について共有し、良い環境が作れるように配慮していきます。

・クラスミーティングで日々の振り返りをして、課題があれば対策を考え実行してきました。
気付いたことは短い時間でも集まり、振り返りをしました。
今後も危機管理や子どもの発達をしっかりとみて継続していきます。

・ヒヤリハットに気づきを記入し、ケガなどが起こりやすい状況、場所などを職員全員で共有し安全な環境作りに努めました。ヒヤリハットは増えてきましたが、今後も気づきを増やすことが課題です。

（2）給食部門

・裏庭にプランターを置き、夏野菜（トマト、ナス、枝豆、ピーマン）と秋冬野菜（小松菜、人参、ラディッシュ）を育てました。幼児クラスが順番で水やりをして野菜

の収穫もしました。収穫したものは給食の献立に取り入れました。園児の「おいしかった」の声が多く聞かれ、収穫の様子などはブログに掲載しました。

次年度も食育として続け、給食と保育が連携をとっていきます。

・3月に年長児に三大栄養素の話をしました。わかりやすく絵をかいたりして、ごはん、野菜、肉などをバランス良く食べる大切さを伝えバランスの良い食事の献立も子ども達と作成してみました。食材や栄養などに興味が持てました。

・給食室での作業工程やヒヤリハットは毎月の食事ミーティングで振り返りをしています。今後も、ヒヤリハットや振り返りを活かし、おいしい給食の提供を行っていきます。

・研修に積極的に出席し、各自のスキルアップをしました。研修内容は職員間で共有しました。

（3） 一時預かり

・4月以降、各クラスの担任と受け入れ状況を確認しながら、緊急利用や週3の非定型の利用を柔軟に受け入れてきました。短時間（午前中）の預かりも対応が出来ています。登録者も増えました。

今後も、必要な状況には対応できるように体制は整えていきたいと思います。

（4）親子サロン

・新型コロナウイルス感染症の影響で親子サロンをお休みしていましたが、感染症が落ち着いた為、11月に親子サロンを開催しました。参加者は1名でしたが、今後は定期的に開催出来るよう計画していきます。

事業詳細

年令別・月別園児数

	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0												
1	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
2	9	9	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10	10
3	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
4	9	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8
5	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
計	45	43	43	43	43	43	44	44	45	45	45	45	45

職員報告　　3 月 31 日現在

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	合計
国基準	1	11	0	0	1	2	0	15
常勤	1	6	0	0	0	1	0	8
短 常 勤		4						4
非 常勤	0	8	1	0	1	2	0	12

月別活動記録（園児関係）

月	活動	目標・成果	月	活動	目標・成果
4/1	入園・進級式	入園・進級を祝う	10/1	運動会　幼児クラス（小学校体育館）	ソーラン節、お遊戯を披露する
7/7	七夕集会	季節の行事を知る	6 月	2 歳児　保育参観	保育園での様子を見てもらう
7/3	水遊び開始	決まりを守り楽しく遊ぶ	9 月 10 月	1 歳児　3 歳児 4 歳児　5 歳児 保育参観	保育園での様子を見てもらう
7/26	夏祭り	園内でベームや盆踊りを楽しむ	12/9	生活発表会	成長した様子を披露する
9/4	交通安全教室	交通安全の話を聞き、戸外でのルールを知る	2/2	節分の会	いろいろな鬼を退治する 季節の行事を知る
10/21	さくらんぼ組 運動会	体を動かすことを楽しむ お家の方と楽しく過ごす	3/9	卒園式	卒園を祝う 卒園証書をもらう 保育園生活の思い出を自信を持って話す
10/21	2 歳児～5 歳児 運動会	体を動かすことを楽しむ 成長した姿を見てもらう			
（その他　定例行事） ・毎月・・誕生会、防災訓練、身体測定、健康診断					

外部講師の指導状況　　なし

指導内容	講師名	指導回数　（月・週・回）
なし		

特別保育事業実施報告

事業内容	実施日数		実施延べ人数	
	今年度	昨年度末	今年度	昨年度末
一時預り保育	243	243	156	108
延長保育	243	243	1829	1582
親子サロン	0	0	1	0
母乳ケア	0	0	0	0

研修実施報告

外部研修

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
6/14	キャリアアップ研修マネジメント	1名	8/1	キャリアアップ研修　障害児	1名
6/23	キャリアアップ研修マネジメント	1名	8/30	キャリアアップ研修　障害児	1名
6/28	キャリアアップ研修マネジメント	1名	8/30	キャリアアップ研修　障害児	1名
7/14	キャリアアップ研修マネジメント	1名	9/12	キャリアアップ研修　障害児	1名
7/24	キャリアアップ研修マネジメント	1名	9/19	キャリアアップ研修　障害児	1名
6月	給食　食品衛生研修会	4名	9月	宮前区　子育て支援	2名
6月	給食　偏食を改善する	1名	9月	宮前区配慮が必要な子どもへの思い	3名
10/16	キャリアアップ研修 保護者支援	1名			
11/16	キャリアアップ研修 保護者支援	1名			
11/27	キャリアアップ研修 保護者支援	1名			
12/6	キャリアアップ研修 保護者支援	1名			
12/6	キャリアアップ研修 保護者支援	1名			

内部研修(園内研修)

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
5/19	保育士の健康管理　腰痛予防など	13名	9/19	SDGsについて	12名
6/22	嘔吐処理	14名	10/10	公園　お散歩マップ作り	10名
7/11	救命救急　応急手当	12名	11/22	手遊び　わらべ歌	10名
8/3	手話での表現方法を知る　歌	10名	1/12	手品で子どもたちを楽しませる	11名
			3/21	食育（災害時の給食）	12名

会議

事業所連絡会	メールや電話で報告や相談
施設長連絡会	毎月１回開催　（zoom 会議）
全体ミーティング	保育と給食・・毎月１回開催　保育は後半から掲示、回覧での共有に変更
部門会議	クラスミーティング・・週１　係、行事ミーティング・・都度

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	266	280
軽微事故	49	48
受診事故	6	4
苦情・要望	0	0

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	入社 ・非常勤保育士２名　（11/20～3/19、11/20～3/31） 退職 ・常勤保育士１名 ・非常勤保育士３名
建物・設備	・５月　給食室の排水管掃除 ・７月　事務所エアコン修理　部品の取り換え ・７月　給食室のエアコンの不具合を業者に依頼 ・８月　AED のレンタル開始 ・８月　保育園の前の看板を新しく設置 ・１月　空気清浄機のフィルター交換 ・３月　給食室の換気扇修理　部品交換
地域関連	運動会は宮崎小学校の体育館を借りて実施
実習生受入	なし
見学・来園	・次年度入園希望の施設見学 ・一時保育の受け入れについて施設見学　登録

せせらぎ保育園

理念　「**せせらぎ保育園は、子どもの生きる力の基礎を培いま。**」

１．　施設の概要

・所在地：川崎市中原区新城 1-14-7

・定員：35 人

・開所日：　　2015 年　　9 月　　1 日（NPO 法人開所日　2011 年　7 月　1 日）

２．　事業概要

（1）通常保育　　開所時間　　7 時～20 時　　定員 35 人

３．　事業報告

（1）保育部門

・児の自ら伸びようとする力を育む保育を行います。子どもの持つ力を信じて、主体性を育む保育を行います。待つ保育の実践。

・子どもの人権を尊重した保育を行います。一人ひとり育ちを尊重し子どもに寄り添ったていねいな保育を行います。

・発達の連続性に考慮し、幼児教育を行う施設として育みたい資質・能力を意識した保育を行います。

以上の保育目標に向かって日々、保育者 1 人 1 人が意識をもって保育を行ってきました。

その中で子ども 1 人 1 人が自分らしくのびのびと自己発揮し、育つことを実感することができました。子どもの最善の利益を第一に、子どもの育ちを支えることができました。

また、職員が自ら考えて行動する力をつけ、自主性を持って行動する姿が見られ、職員のスキルアップを感じることができています。より保育者も主体的に学びを深め、互いに高め合いながら園全体の保育の質の向上を目指したいと思います。

・コロナ禍が落ち着き、近隣小学校や保育園等との交流も再開され、積極的に関わることができるようになりました。また園児の祖父母を招いてのふれあい会では多くの祖父母に参加いただき異世代間の交流をもつことができました。今後も、商店街や地域との交流など多様なネットワークを拡げ、社会全体で子どもの育ちを支えられるよう取り組んでいきたいと思います。

・積極的に外部研修、園内研修に取り組んでいます。
職員の自主性が高まり、積極的に外部研修や公開保育等に参加する姿勢が見られました。

また、内部研修では交代で全員がファシリテーターを務めテーマを考えるなど、職員１人１人が主体的となりグループワークでの学びを深めることができています。

・職員が心身共に健康で安心して働ける環境の整備に努めています。業務内容や分担を見直してきたことや、ICT 化を進めたことで業務負担の軽減にもつながり、残業や持ち帰り仕事はなく、休憩時間の確保や、有給取得率が高い状態を維持することができました。それらが職員の定着にも繋がっていると感じます。

・ICT 化をより推進し、事務業務の効率化、業務負担の軽減を図るとともに、保護者と保育を共有するためのツールとして有効に活用することができました。また、SNS を活用して地域への情報発信を行うことができ、自園を知ってもらうきっかけ作りができていると思います。

（２）給食部門

「食べることは生きること」を大きなねらいとし、食育活動や日々の中で食の大切さや楽しく食事をすること、また感謝しながらいただくことの理解や意識を高めています。

コロナ禍で見合わせていたクッキング活動等の食育活動も積極的に行うことができました。

初めての試みで稲の栽培から収穫、精米までを体験することができ食育活動を通して食への関心を深めることができました。

子どもの姿や発達など、保育と給食スタッフとの情報共有を行い、共に子どもの育ちを支えられるよう努めています。

（３）親子サロン

月に１回の親子サロンや、母乳ケア＆ママサロンを再開しました。

地域の子育て世代の関心事やニーズを捉え、親子で足を運びやすい講座の内容を考慮して開催しました。また在園児親子の参加も多く、保護者間の交流の場にもなりました。

地域の「集いの場」として地域における子育て支援の拠点となれるように、今後も開催方法や内容を検討し実施していきたいと思っています。

事業詳細

年令別・月別園児数

	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	6	7	8	8	8	8	8	7	7	8	8	8	8
2	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8
3	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7

4	8	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
5	8	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6
計	35	34	36	36	36	36	36	34	34	35	35	36	36

職員報告　　3 月 31 日現在

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	その他	合計
常勤	1	8	1	0	1	0	0	0	11
短 常 勤	0	1	0	0	0	0	1	0	2
非 常勤	0	2	0	0	0	2	0	1	5

月別活動記録（園児関係）

4 月	入園・進級式	進級・入園を祝う	11 月	ふれ あい運動会	ふれ合いを楽しみながら体を動かす
5 月	クラス懇談会	保護者との連携	12 月	クリスマス会	季節の行事を楽しむ
7 月	年長児お楽しみ会	自信と自立に繋げる	2 月	節分	伝承行事
	個人面談	保護者との連携	2 月	せせらぎランド	成長を感じる。自信に繋げる
7 月	せせらぎまつり	季節の行事を楽しむ	2 月	個人面談	保護者との連携
9 月	ふれあい会	祖父母との異世代交流を楽しむ	3 月	お別れ遠足（幼児）	園外保育を楽しむ
10 月	遠足	園外保育を楽しむ	3 月	卒園式	卒園を祝う
（その他　定例行事）/ ・健康診断・身体測定・誕生会・避難訓練・食育クッキング・保育参観参加（通年）					

外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数　（月・週・回）
英語活動	ハッピーホップクラブ	月 1 回
スイミング	スポーツアカデミー	週 1 回（任意であり　保護者負担）

特別保育事業実施報告

事業内容	実施日数		実施延べ人数	
	今年度	昨年度末	今年度	昨年度末
親子サロン	10 回	実施見合わせ	153 人	0
母乳ケア	6 回	実施見合わせ	6 組	0

研修実施報告

◎外部研修

川崎市保育所等職員研修

月日	研修内容	参加者数
5/22～6/5	「乳児保育、0・1・2 歳の保育」	4

5/12	「幼保小アプローチプログラム」	4
6/23	重点課題連続研修「乳児保育、0・1・2 歳の保育」	3
6/28	「3.4.5 歳児の保育」	1
6/30	「食品衛生研修」	3
7/3～7/10	「保育理念」	3
8/4	「危機管理」	1
9/4	「マネージメント」	1
9/25	「保護者支援」	2
9/29	「発達支援」	2
10/2-10/5	「主任・リーダー」	3
11/20-11/27	「人権研修」	15

キャリアアップ研修

月日	研修内容	参 加 者数
6/20, 6/27, 7/7, 7/18, 8/4	食育アレルギー	1
10/18, 10/24, 10/31, 11/16, 11/22	乳児保育	1
12/4, 1/22, 2/5	マネージメント	1

中原区連絡会

月日	内容	参加者数
5/10, 9/12, 1/10	園長連絡会	1
6/5, 9/6, 1/24	幼保小連携担当者連絡会	1
6/9	主任保育士連絡会	1
6/13	幼保小園長校長連絡会	1
6/21	子どもの健康と安全連絡会	1
6/27, 10/19	給食担当者連絡会	1

その他

月日	内容	参加者数
7/14	給食専門実技研修	2
8/10	中原区栄養士等研修会	1
9/15	給食担当者トークルーム	1
9/4	応急手当研修	1
9/6	中原区公開保育「乳児食育」	1
10/18, 10/27	中原区公開保育「幼児」	2

◎園内研修

月日	内容	参加者数
4/1	事故防止、安全管理　・マニュアルの確認	16
6/14	安全管理　・プール・水遊び時の安全管理・熱中症対策　・救急法実技	10
7/19.20,21	保育の質の向上　・グループワーク 1 回目	9
8/3,4	救急法 AED 実技	9
8/17,21	保育の質の向上　・グループワーク 2 回目	9
10/19,23,27	保育の質の向上　・グループワーク 2 回目	9
12/9	保育の質の向上「遊びを中心とした学び」	8
12/9	人権研修	15

会議

事業所連絡会	不定期
施設長連絡会	月 1 回
全体ミーティング	年 2 回（4 月実施）
部門会議	保育クラスミーティング月 1 回、食事ミーティング月 1 回

アクシデント・苦情報告件数（3 月 31 日時点）

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	386 件	541 件
軽微事故	83 件	93 件
受診事故	1 件	0 件
苦情・要望	0 件	0 件

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	採用　4 月 非常勤保育補助 1 名、　5 月 常勤保育士　1 名 産休育休　9/5～非常勤保育士
建物・設備	・厨房用エアコン交換
地域関連	・療育センターとの連携（定期的な巡回訪問） ・近隣保育園との年長児交流 ・小学校訪問、交流 ・卒園児との交流
実習生受入	なし

（施設長・管理者　森永裕紀子）

保育園ゆいまあむ

理念：「共に育ちあう」ことを目指し子どもの育ちを支えます。

１．施設の概要

・所在地：川崎市高津区末長２丁目１５－６

・定員：６０名

・開所日：平成３０年　４月　１日

２．事業概要

(ア)通常保育　　７時～２０時　　定員６０人

(イ)一時預かり保育　　８時３０分～１７時　　定員１０人

３．事業報告

（１）保育部門

丁寧な保育の中で一人一人の成長や興味関心が大切に尊重され、子どもたちは安心した時間を過ごせました。その環境の中で毎日楽しく遊びこみ、たくさんの体験を積み重ね、成長しました。

保育者は子どもの育つ力を信じ、子どもの思いを丁寧に感じ、適切な環境を見極め判断する力を日々の中で学ぶよう努めました。さらに子どもの育ちを大切にサポートしました。

異年齢保育の中で、子どもたちが育ち合う姿にたくさん出会いました。その姿から保育者が学ぶことがたくさんありました。

その体験を基に保育環境を見直すきっかけが出来、保育者が先入観を持たず視野を広げることで子どもたちの育ちの可能性が広がることを体感しました。さらに可能性を広げるための環境つくりを試行錯誤する中での保育者の育ち合いも見られ、提案や交渉といった主体性も育ってきました。

行事は子どもたちの日々の生活を主体に表現することを目的としましたが、それを

実現していくことはとても難しく、まだ目的は達成できていませんが、保育者の思考を育てる良い機会となりました。

保育者の外部研修への参加が少ないのが課題となりました。今後外部からの刺激を受け自園の保育の質を上げていく環境つくりにも力を入れたいと考えています。

（２）給食部門

0.1.2 歳児で食の基本、口への運び方、咀嚼や嚥下、食具の使い方などを丁寧に介助し、さらに食べることの大切さ楽しさが伝わるように努めました。

結果 0.1.2 歳児は食べる意欲があり残食も少ないです。

3.4.5 歳児は食事への関心を深めるため、食育活動の実施や日々の活動の工夫により「お腹が空いてご飯を頂き、お腹いっぱいになる心地よさを体感する」といった時

間の流れの工夫が必要であると感じています。食に対しての基本を改めて学び直し、保育者の意識改革を促すことも課題となりました。また、3.4.5 歳児は自分の食べる量を知り、食べ物を大切に感謝しながら頂く姿に繋がることを目的にセルフ給食へ移行しました。

（3） 一時預かり

4 月～8 月までは利用人数に変動がありましたが、9 月頃から利用人数が安定してきました。一日平均 5 人くらいの利用で、月延べ 80～90 人くらいの利用で落ち着いてきています。0 歳児の利用が多いことも特徴だと感じました。一時保育の問い合わせは多くそのニーズの大きさを感じています。今年度は出産や保護者のケガ等の緊急なケースにも対応することが出来ました。今後も地域の貢献できるよう柔軟な運営を心がけたいと思います。

（4）親子サロン

月一回のサロンの開催を目指しましたが、今年度は 6 回の開催となりました。
実際活動することで、アイデアやつながりが生まれてくることを感じました。
今後、もっと活発に計画していく中で地域支援に繋げることはもちろん、保育者たちの地域貢献の意識も高めていきたいと思います。さらに近隣の園や高津区とも連携を取りながら活動の幅を広げていきたいと思います。

事業詳細

年令別・月別園児数

年齢	**定数**	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	6	3	3	4	4	4	5	6	6	6	6	6	6
1	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
3	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
4	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
5	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
計	60	62	62	64	64	64	65	66	66	66	66	66	66

職員報告

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	その他	合計
国基準	1	1　1		1	1	2			16
常勤	1	1　3			1	2		1	19
非常勤		2	1				1	4	8

月別活動記録（園児関係）

6/24	★運動会（２～5 歳児）	体を動かすことを楽しむ	7/8	ふれあい会	親子でふれあいを楽しむ
6/1	マーブルの日(縦割り保育)	感触遊びを楽しむ	8/10	マーブルの日(縦割り保育)	夏祭り
6/1	プール開き	水遊びを楽しむ	9/16	敬老の日	はがきを送る
11/18	ゆいまあむの日	園での生活を発表する	12/25	クリスマス会	季節の行事を楽しむ
12/27	おもちつき	伝統行事に触れる	2/2	節分会	季節の行事を楽しむ
3/9	卒園式	成長と卒園を祝う	3/3	ひな祭り会	季節の行事を楽しむ
（その他　定例行事） 身体測定　　お楽しみの日(食育活動)					

外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数　（月・週・回）
なし		

特別保育事業実施報告

事業内容	実施日数		実施延べ人数	
	今年度	昨年度末	今年度	昨年度末
一時預り保育	220	200	812	510
地域支援事業	10	0	181	0
母乳ケア	4	0	6	0

研修実施報告

外部研修

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
5 月～	キャリアアップ研修（アレルギー）	1 名	11 月～	キャリアアップ研修（幼児保育）	1 名
5 月～	キャリアアップ研修(マネジメント)	1 名	2 月	子どもの見方(柴田愛子)	3 名
6 月	地域とのつながり方支援について	1 名	2 月	子どもの発達とおもちゃ	1 名
7 月	就学に向けての取り組みと実践	1 名	2 月	地域で繋がる子ども子育て支援	1 名
9 月	施設長研修（組織作り）	1 名			
10 月～	キャリアアップ研修（乳児保育）	1 名			

内部研修(園内研修)

月日	研修内容	参 加 者数	月日	研修内容	参 加 者数
4 月	理念について他	24 人	10 月	保護者対応(事例研修)	23 名
5 月	熱性けいれん対応法　他	20 人	12 月	実地訓練 (消火器の使い方・エピペンの使い方)	20 名
6 月	保育カリキュラム振り返り	10 名	2 月～	リーダー研修(ポラリス)	2 名
10 月	AED の使い方 (心肺蘇生)	23 名	2 月	ヒヤリハット(おひさまっこと合同)	2 名

会議

事業所連絡会	8 月 10 月 12 月 2 月
施設長連絡会	毎月実施
全体ミーティング	4 月　5 月　10 月　12 月　3 月
部門会議	毎週木曜日実施(カリキュラム会議)　隔週　年齢別会議　給食会議

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	592	552
軽微事故	254	205
受診事故	0	3
苦情・要望	2	0

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	採用：　非常勤保育士　1 名(4/1～)　　短時間常勤　1 名 (6/1～) 非常勤保育士　1 名(10/1～)　非常勤用務　1 名(10/1～) 退職：　非常勤保育士　1 名(～12/31)　非常勤保育士　1 名(～1/31) 常勤栄養士　　1 名(～3/31/)
建物・設備	なし
地域関連	母乳ケア＆ママサロン開催 地域に向けてのサロン開催 (おさがり交換会・絵本講座　親子遊びや製作など)
実習生受入	なし
その他	園見学保護者　　就職ための学生さんの見学

(施設長　清水佳子)

保育園小さなほし

理念　　**「子どもの生きる根っこが育つ『今』を大切にします」**
厨房理念「心も身体も満たされる給食」
食育理念「食を身近に感じられる子どもを育てる」

1　施設の概要
・所在地：藤沢市湘南台３－９－１
・定員：66 人
・開所日：２０１５年９月１日（NPO 法人開所日２０１０年４月１日）
・移転日：２０１９年１月１日

2　事業概要（３の事業報告とも、不要な事業は削除してください）

（１）通常保育	７時　～２０時	定員６６人
（２）一時預かり保育	８時半～１７時	定員１０人
（６） 病後児保育	７時　～１８時	定員　６人

3　事業報告
（１）保育部門
・子どもとの「アタッチメント形成」が最も大切で有る事を理解し、その上に形成される「子どもが参画する保育」の実践が出来ているかを常に振り返りながら職務を遂行しました。この為に以下の事を行いました。
①子どもの権利条約４つの柱、全国保育士会人権擁護チェックを基とする学びから年 3 回の振り返りを行い、子どもの人権を擁護する関わりを普段の保育に落として考え、職員間の学びを深めました。
②保育が出来る環境作りとして、子どもの発達の理解を基に、PDCA サイクルで保育を計画しました。新たに、日々の保育実践に OODA ループの考え方を用いる努力を行いました。
③子ども達が今後生きていく「共生社会」「多様な社会」を考え、日々の保育の中で子どもの主体性を育む関わりを考え保育を行いました。
・豊かな経験が出来る保育を実践しました。
①近隣の公園や地域の豊かな自然の活用を心掛けて保育を行いました。
②幼児 3 クラスでは、異年齢保育を実行し、次年度保育の礎を築きました。
③厨房職員と連携し、子どもの興味を引き出す食育を行いました。
・子どもを育む楽しさを、保護者と共有しました
①保育参加の実践により、保育園での遊びや集団生活の様子を保護者に理解していた

だきました。参加した保護者からは、「安心した」「楽しそうだ」等の声を多くいただきました。

②写真・動画、ブログ、お便り帳アプリを活用し、普段から子どもの様子の見える化を図りました。

③年２回のクラス懇談会では、子どもの様子を伝える他、保護者同士の意見交換を大切にしました。

（２）給食部門

・園理念と厨房理念に基づき、食を通して豊かな経験を積む事を大切にしました。

①保育士と連携し、子どもが食に興味を持ち、多様な文化に触れられる活動を行いました。

②旬な食材を選び、季節感のある献立を大切にしました。

③安全な給食提供が出来る環境を整え、事故無く給食の提供を行いました。

（３）一時預かり

・地域の子育てが豊かになる一助を目指し、可能な限りの預かり保育を行いました。

①面接時の聞き取りを丁寧に行い、子どもの特性や保護者の不安を明確にし、安全・安心な預かり保育を提供しました。

②その日の利用者の年齢、個性に配慮した預かり保育を実践しました。

③保護者や利用児の様子に合わせ、話しを聴く時間を作ったり情報を提供したりしました。

（４）病後児保育

・地域住民の就労支援および、子育ての一助を目指し、以下を実践しました。

①病気回復期の児を預かり、就労と子育ての支援をしました。

②病状や年齢に合わせた保育環境を作りました。

③利用児の体調変化に留意し、安心・安全な預かり保育を行いました。

（５）親子サロン

・地域の子育てが豊かになる一助を目指し、以下を実践しました。

①6 月から 2 月まで毎月 1 回リトミックや簡単な製作等の場を設ける事で、地域の親子が園に来やすい環境作りを実践しました。

②参加者が安心して過ごせる様、安全な環境とゆったりした雰囲気作りを心掛けました。

③参加者の様子によっては、一時預かり保育との連携を計りました。

事業詳細

年令別・月別園児数

年齢	定数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
1	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
3	12	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
4	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
5	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
計	66	65	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66

職員報告　　3 月 31 日現在

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	産休・育休	合計
国基準	1	15		1	1	1			19
常勤	1	14		1	1			2	17
短常勤		5					1		6
非常勤		7	1			3			11

月別活動記録（園児関係）

4月	筍掘り	春の自然に触れる 地域の方と交流を図る	4月	進級入園を祝う会	入園児を歓迎する 大きくなった事を喜び合う
6月	交通安全教室	交通ルールを知る	6月	梅干し・梅ジュース作り	旬の素材の化学変化に興味を持つ
7月	プール開き	水遊びへの期待	7月	ピザ作り	育てた夏野菜を使って作る
7月	七夕	伝統行事に触れる	8月	プールしまい	楽しく健康に過ごせた事を喜ぶ
9月	十五夜	季節の行事に親しむ	9月	運動発表会（4.5 歳児）	運動遊びの積み重ねを発表する
9～2月	保育参加（3 歳児） 保育参観(0～2 歳児)	普段の保育園での様子を保護者に観ていただく	11月	干し柿作り	保存の知恵を知る 年長児が園児分を作る

11月	人形劇鑑賞	地域で活動されている団体との交流	12月	ケーキデコレーション（幼児）	自分で工夫してデコレーションをし、食す事を楽しむ
12月	幼児：発表会	表現活動の積み重ねを発表する	1月	新年会（獅子舞）	伝統技能に触れ親しむ
2月	味噌作り 豚汁作り	昨年度作った味噌を使って調理する	2月	豆まき会	伝統行事に親しむ
3月	卒園式	節目を大切にし、大きくなる喜びを感じる	3月	お別れ遠足（年長）	思い出を作る

（その他　定例行事）

誕生会、防災訓練、防犯訓練、図書館お話会（以上、毎月）

※誕生会は、新型コロナウイルス感染症収束まで、各クラスで実施

内科健診（年3回）　歯科検診（年2回）

外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数　（月・週・回）
４・５歳児楽器指導	柏本智子	6月～11月各回（8・12月は講師都合で休み）
5歳児陶芸	清田茂	6月1回のみ

特別保育事業実施報告

事業内容	実施日数		実施延べ人数	
	今年度	昨年度末	今年度	昨年度末
一時預り保育	243	242	1648	1422
病後児保育	294	293	117	100

研修実施報告

外部研修

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
4月	理事長研修：藤雪会とは	9	4月	新入職者研修（ポラリス）	1
4・5月	小児救命講習	全員	5～10月	若手研修（ポラリス）	2
5月	特別給食施設における栄養管理	1	6～9月	保護者支援（ポラリス）	13
6月	2年目研修	1	6月	つもりの自分・映っている自分/心のコップ（ポラリス）	3
6月	上手に文章を書く（ポラリス）	2	7～8月	幼児教育（キャリアアップ研修）	1
8月	乳児保育（キャリアアップ研修）	1	9月	保護者支援（キャリアアップ研修）	1

9 月	マネジメント（キャリアアップ研修）	1	9 月	幼児保育（白峰）	1
10・11・12 月	中堅研修（ポラリス）	1	10・11 月	リーダー研修（ポラリス）	2
10 月	健康診断について（藤沢市）	1	11.12 月	脳機能の視点で見る子どもの理解と支援	1
11 月	遊びの中で育つ子どもの姿 （民間園長会）	5	11 月	子ども主体の保育実践を学ぶ(視察/民間園長会)	1

内部研修(園内研修)

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
年間	子どもを見る目を養う（小グループで年間を通し行う）	全員	4 月	園理念・今年度方針	全員
4 月	新入職者研修：園理念	4	7・12・1・2 月	子どもの人権	全員
1 月	インクルーシブ保育を考える	18	2・3 月	今年度の保育を振り返る	

会議

事業所連絡会	適宜開催（ZOOM 会議）
施設長連絡会	毎月開催（ZOOM 会議）
全体ミーティング	毎月開催（少人数による会議。全体には書面で共有）
部門会議	各クラス会議：毎月開催　　乳児・幼児会議：必要に応じ開催。書面連絡有り 事務分担担当、行事担当会議：随時開催 園長・主任・副主任会議：状況に応じ開催

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	364	318
軽微事故	176	197
受診事故	1	3
苦情・要望	4	7

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	採用・退職　（職種、常勤・非常勤、人数） ≪入職≫

	4 月：常勤保育士（既卒）３名、 （新卒）1 名 10 月：非常勤調理員 1 名 ≪退職≫ 7 月：非常勤調理員 1 名 12 月：非常勤保育士 1 名 2 月：非常勤保育士 1 名 3 月：常勤保育士 2 名 ≪育休≫ 4 月：非常勤調理員 1 名復帰 4 月～3 月：常勤保育士 2 名育児休暇
建物・設備	6 月：タープ設置の為のブロック塀高さ変更工事、PC3 台購入 7 月：園庭にタープ設置 9 月：厨房室外機風向調整版設置（厨房内暑さ対策の為）
地域関連	4 月：近隣公園内・竹林の筍堀 7 月：駅地下の七夕祭りに作品展示（幼児） ≪苦情≫ 7 月：厨房の音について、保育課に匿名で苦情が入る→近隣に園だよりを持参しつつお話を伺ったが該当者とは会えなかった。 10 月：子どもの声（2022 年度に 3 回頂いた方と同じ方からいただく）→電話で状況の説明と対策をお伝えする。
実習生受入	5 月：1 名（横浜こども専門学校３年） 7 月：1 名（聖ヶ丘専門学校 2 年） 8 月：1 名（茅ヶ崎市小学校養護教諭） 10 月：2 名（横浜こども専門学校 2 年、3 年各１名） 2 月：1 名（東海大学 2 年生）

（施設長・管理者　垣中奈奈子）

デイルームとんとん

理念「地域の中でより豊かに暮らせるようひとりひとりの笑顔を大切にします」

1　施設の概要

・所在地：　厚木市水引 2－12－29　YM ビル 203

・定員：　10 名/1 日

・開所日：　2015 年　9 月　1 日　（NPO 法人開所日　2004 年　10 月　1 日）

2　事業概要

（1）児童発達支援　　10 時～14 時　　13 時～17 時

（2）放課後等デイサービス　　10 時～14 時　　13 時～17 時

（長期休暇中　1～2 日/週　10 時～16 時）

3　事業報告

・運営管理システム（HUG）を導入し、支援計画や請求業務、勤怠の確認等でスムーズに使用できるようになり、事務処理を効率化できました。今後は、保護者が療育の様子を確認できたり、利用申し込みの受け付けを行う等、ご家庭まで利用の範囲を拡大していけるよう案内を行っていく予定です。

・家族間の交流、そして土曜日曜利用の要望に応えていけるよう、夏と冬に親子交流行事を開催しました。

・運動プログラムトランポリン活動では、通学通園が難しい児童の利用もある。気持ちよく思い切り体を動かし、楽しく安心して過ごせる場所を提供できるよう支援を行いました。

・職員の求人を出しているが反応がなく、常勤職員の残業が多くなってしまっています。

（1）　児童発達支援

・季節の行事や戸外活動、体操、スキンシップ遊び、感覚遊びを積極的に取り入れました。

・場面の切り替えが苦手、自閉傾向やこだわりが強い、といった特性をもつ児童が多い年度でした。特性に合わせて環境を整え、利用児が理解、納得しスムーズに次の活動に向かえるよう工夫を重ねました。

・小集団療育の中で遊びや活動の場を共有し、同年代の子どもとのコミュニケーションを体感することで、要求や主張等、気持ちの表出方法を広げていけるよう支援を行いました。

・就学、入園に向けて、集団生活への準備、生活基本動作の習得、身辺自立を目指し支援を行いました。

（2）放課後等デイサービス

・学年が上がったこと等による退園児がおり、利用児は減少した。
・男性職員不在の為、同性介助の視点から、難しいと感じる場面がある。
・利用児の特性に応じて、それぞれの児童の強みを伸ばしていける関わりを大切に支援を行った。
・保護者のレスパイトケア、負担軽減を目的に、可能な限り臨機応変な送迎に対応した。
・長期休暇期間には利用時間延長日を設け、通常の放課後利用時間内ではできない活動（施設見学、戸外活動）を取り入れた。

事業詳細

年令別・月別園児数 （定数 10 名/1 日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
児	83	100	95	105	98	98	108	121	99	97	107	97
放	87	92	84	85	67	75	77	77	77	76	74	64
計	170	192	179	190	165	173	185	198	176	173	181	161

職員報告　　3 月 31 日現在

	施設長	保育士	支援員	看護師	栄養士	調理員	事務	その他	合計
国基準									
常勤	1	2							3
非常勤		2	4						6

月別活動記録（園児関係）

5 月末	園外保育週間	12/14.18.19	クリスマス会（放デイ）
5/26	ディズニーランド体験（ボランティアと一緒に）	12 月	放デイ時間延長日
7/3.4	療育参観（児発）	1 月	初詣
7/29	親子交流行事	2/3	トランポリン大会
7.8 月	放デイ時間延長日	2/11	親子交流行事
10/17	秋の親子遠足	2 月	豆まき、恵方巻き作り
10 月	ハロウィンお楽しみ会	3 月初	お別れ遠足
11/18	運動会	3/10	卒園式
12/18.19.20	クリスマス会（児発）		
（その他　定例行事）		・誕生会・避難訓練	

外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数　（月・週・回）
トランポリン	永田敏雄・茂垣知江	月 3～５回
リフレクソロジー	長田由佳	月 3 回

研修実施報告

外部研修

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
6月	自閉療育の実践	2名	8/11	まめの木研修会「乳幼児健診とその後の支援事業について」「厚木市の就学相談」	2名
7/18	まめの木出張講座 事例検討（2件）	9名	2/7	座間支援学校研修会	2名
7月	伊勢原支援学校 学校見学	2名			

内部研修(園内研修)

月日	研修内容	参加者数	月日	研修内容	参加者数
4/12	緊急対応マニュアルの確認	9名	3/6	自己評価アンケートから	9名
10/24	嘔吐時の対応	6名	3/6	身体拘束、虐待防止	9名

会議

事業所連絡会	9/13
全体ミーティング	4/12，5/10，6/14，7/26，9/13，10/11，11/8，1/10，3/6
学校とのケースカンファレンス	7/31

アクシデント・苦情報告件数

項目	今年度	昨年度末
ヒヤリハット	83	83
軽微事故	2	4
受診事故	1	
車両事故	2	3
苦情・要望	1	4

一般事業・職員の活動等

事項	
人事	・採用　2023.4.1　非常勤職員　1名、2023.5.1　非常勤職員　1名 ・退職　2023.5.31　非常勤職員　1名
建物・設備	・エアコン改修
地域関連	・清掃活動 2023.5.21　清水公園掃除　1名、2023.9.17　清水公園掃除　1名 2023.12.17　清水公園掃除　1名、2024.3.17　清水公園掃除　1名 ・「くらしの保健室あつぎ」より利用児へ、絵本のプレゼント
ボランティア受入	・男性1名　不定期で来園

（管理者　　高木　暁子）